

現場説明書（技術的事項）

工事名 三吉町改良住宅1・2号棟給水設備改修工事

1. 現場の状況

工事場所は、市営住宅として入居者の方が生活しています。現地の調査等は事前に施設管理者の承諾を得たうえで行ってください。

2. 留意事項

- (1) 本工事は、市配水本管より各戸までの給水配管を先行で更新し、その後隔測水道メーターから市水道局水道メーターに切替える工事です。
- (2) 本工事の受注者は、地元企業・地場製品の活用に努めてください。
- (3) 工事工程については事前に施設管理者と十分協議・調整してください。
- (4) 工事施工中の災害及び事故防止に努め、適切な現場の安全管理を行い、市営住宅入居者の怪我のないよう、注意看板の設置及び養生を十分行ってください。特に機材搬入・搬出時には細心の注意をはらってください。
- (5) 関連工事業者および施設管理者と連携を密にとり、工事全体の円滑な施工に努めるとともに、契約工期を遵守してください。
- (6) 本工事は、建設リサイクル法の対象工事に該当しませんが、特定建設資材の再資源化に努めると共に、建設副産物入力システム（COBRIS）の計画・実施報告書を提出してください。
- (7) 現場代理人及び主任技術者の配置については、契約約款および建設業法等の違反とならないよう適切に配置し、本工事の施工管理を行ってください。
- (8) 工事に伴い必要となる官公署への手続きは、受注者により速やかに行ってください。
- (9) 断水、騒音、振動等市営住宅入居者の生活に影響が生じる場合は、事前に連絡を行ってください。（文書の配布、声かけなど）
- (10) 給水負担金は、本工事の範囲外です。
- (11) 工事で既存工作物等に損傷を与えないように対策を講じてください。損傷を及ぼした場合は、受注者の責任において速やかに復旧してください。

3. 別途関連工事

- ・電気設備工事

三吉町改良住宅 1・2号棟給水設備改修工事

図面リスト					
図番	図面名称	縮尺	図番	図面名称	縮尺
W/1	機械設備工事特記仕様書No.1	—	W/10	2号棟 4・5階平面図 (改修後)	1:100
W/2	附近見取図・配置図	NO SCALE	W/11	2号棟 北立面図 (改修後)	1:100
W/3	1号棟 屋外給水配管図 (改修後)	1:100	W/12	2号棟 給水管アイソメ図 (改修後)	NO SCALE
W/4	1号棟 1～3階平面図 (改修後)	1:100	W/13	2号棟 1～3階平面図 (撤去)	1:100
W/5	1号棟 北立面図 (改修後)	1:100	W/14	2号棟 4～R階平面図 (撤去)	1:100
W/6	1号棟 給水管アイソメ図 (改修後)	NO SCALE	W/15	1・2号棟 ポンプ室・受水槽・高架水槽廻り撤去図	1:50
W/7	1号棟 1～R階平面図 (撤去)	1:100	/		
W/8	2号棟 屋外給水配管図 (改修後)	1:100	/		
W/9	2号棟 1～3階平面図 (改修後)	1:100	/		

福山市建設局建築部設備課

福山市建設局建築部設備課					
主務	係長	第1担当次長	第2担当次長	設備課長	建築部長

縮尺率	A-1: 100%
	A-2: 71%
	A-3: 50%

福山市機械設備工事特記仕様書

I 工事概要

1 工事名称 三吉町改良住宅1・2号棟給水設備改修工事

2 工事場所 福山市三吉町二丁目及び北吉津町四丁目地内

3 用途地域 _____

4 防火地域 ・防火地域 ・準防火地域 ○指定なし

5 工事種別 ・新築 ・増築 ・改築 ○改修

6 敷地面積 _____

7 建物概要

1) 構造 1号棟 RC造3階建 2号棟 RC造5階建

2) 面積 建築面積 _____
延べ面積 _____

概要	1号棟 RC 3F-9戸	2号棟 RC 5F-20戸

3) 附属施設 _____

8 消防法令に基づく防火対象物 消防法施行令別表一 (5) 項

9 建築基準法施行規則に定める主要用途区分 ()

※ 本工事の工期には、工事検査期間として14日を含んでいる。
※ 契約締結後14日以内に実施工程表を提出するものとする。
※ 本工事は、法定外の労災保険を見込んでいます。

※ 工事種目 (○印のついたものを適用する。)

工 事 種 目	工 事 種 目
① 給排水衛生設備工事	2. 空調設備工事
1 衛生器具設備工事	1 空調設備工事
② 給水設備工事	2 換気設備工事
3 排水設備工事	3 排煙設備工事
4 給湯設備工事	4 自動制御設備工事
5 消火設備工事	
6 厨房機器設備工事	
7 ガス設備工事	
8 浄化槽設備工事	

III 設備概要 (○印のついたものを適用する。)

給排水	給水方式	○直結直圧式 ○直結増圧式 ・高置水槽式 ・受水槽方式
	排水方式	・自然流下 ・ポンプ排水 (・汚物 ・水 ・雑排水)
衛生設備	放流先	汚水 ・直放流下水管 ・浄化槽 雑排水 ・直放流下水管 ・浄化槽 ・側溝 ・別途樹
	給湯設備	方式 (・局所式 ・中央式) 熱源 (・電気 ・都市ガス ・液化石油ガス ・灯油 ・A重油) ・屋内消火栓 ・連絡送水栓 ・屋外消火栓 ・スプリンクラー ・粉末消火 ・消防用水 ・泡消火 ・連絡散水 ・消火器 ・フード専用簡易自動消火 ・二酸化炭素消火 ・不活性ガス消火
空気設備	ガス設備	・都市ガス 種別13A (4.5MJ/N) ・液化石油ガス
	浄化槽	・小規模合併処理 ・合併処理
空調設備	空調和方式等	・空調和 (・中央ダクト方式 ・各階ユニット方式 ・パッケージ方式) ・ファンコイルユニット、ダクト併用方式)
	主要熱源機器	・鋼製ボイラー ・鉄製ボイラー ・温水発生機 ・チリングユニット ・空気熱源ヒートポンプユニット ・遠心冷凍機 ・スクルー冷凍機 ・吸収冷凍機 ・直だし吸収冷凍機 ・小形吸収冷凍機ユニット ・コージェネレーション装置 ・水蓄熱ユニット ・パッケージ形空調和機 ・ガスエンジン式パッケージ形空調和機
換気設備	換気設備	・1種換気 ・2種換気 ・3種換気 ・全熱交換器
	排煙設備	・機械排煙 (・有り ・無し) ・適用法則 (・建築法 ・消防法)
自動制御設備	自動制御設備	・自動制御方式 (・電気式 ・電子式 ・デジタル式) ・中央監視制御装置

IV 機械設備工事仕様

1 共通仕様

図面及び特記仕様に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修公共建築工事標準仕様書(機械設備工事編)令和4年版(以下「標準仕様書」という。)、同官繕部設備・環境課監修公共建築設備工事標準図(機械設備工事編)令和4年版(以下「標準図」という。)及び公共建築改修工事標準仕様書(機械設備工事編)令和4年版による。

建築工事及び電気設備工事を本工事に含む場合は、それぞれ公共建築工事標準仕様書(建築工事編)及び公共建築工事標準仕様書(電気設備工事編)による。

(1)官庁手続き
受注者は各関係官公署への必要な手続きを速やかに完了し、工事完成と同時に建物使用できるよう、一切の手続きを代行する。(水道加入金の納付手続きは除く。関係官公署手続きは監督員の承諾後とする。)

(2)地元企業及び地場製品の活用
受注者は、地元企業及び地場製品の積極的な活用に努める。

(3)疑義に対する協議等
設計図書に定められた内容に疑義が生じたり、現場の納まり又は取り合い等の関係で、設計図書によることが困難若しくは不都合が生じた場合は、監督員と協議する。

2 特記仕様

(1)項目は、番号に○印のついたものを適用する。
(2)特記事項は※および○印のついたものを適用する。
3 引渡し後、次に示す点検を行う。(○印のついたものを適用する。)
・引渡し後点検(第1次点検) 引渡しの概ね1年後
・引渡し後点検(第2次点検) 引渡しの概ね2年後

章	項	目	特	記	事	項
①	①	適用基準等	○公共住宅建設工事共通仕様書 国土交通省住宅局住宅総合整備課監修(令和元年版)	○建築基準法、消防法、その他関係法令	○建設工事公衆災害防止対策要綱(建築工事等編)建設経済局建設業課・住宅局建築指導課監修	○建築工事安全施工技術指針 建設大臣官房官庁営繕部監督課長通達
		監理(主任)技術者	受注者は、監理技術者及び主任技術者を建設業法により定め、工事現場内において工事名、工期、写真、所属会社名及び証明印の入った名札を着用するものとする。	・適用する。 ・適用しない	・適用する。 ・適用しない	・適用する。 ・適用しない
		電気保安技術者	・適用する。 ・適用しない	・適用する。 ・適用しない	・適用する。 ・適用しない	・適用する。 ・適用しない
		技能士	・適用する。 ・適用しない	・適用する。 ・適用しない	・適用する。 ・適用しない	・適用する。 ・適用しない

工 事 別	適 用 種 別	工 事 別	適 用 種 別
・配管	配管施工	・冷凍機、空調機	冷凍空調和機器施工
・保温	熱絶縁施工	・風通、換気	建築衛生施工

受注者は施工管理体制を確立し、品質、工程、安全等の施工管理を行う。
※施工体制台帳(建設業法等に従って作成し、写しを提出する。)
技術者台帳(施工体制台帳に添付)
監理技術者・主任技術者(下請を含む)及び専門技術者の写真、名前、生年月日、所属会社名を記載する。
※施工体系図(建設業法に基づき、当該現場の見やすい場所に掲示する。)
工事に使用する機材は、設計図書に定める品質及び性能を有する新品とする。
指定以外の機材を使用する場合は、あらかじめ監督員の承諾を受ける。
また、(社)公共建築協会が実施する「建築材料・設備機材等品質性能評価事業」によって所要の品質・性能を有することの評価を受けた材料・機材等を使用する場合は、評価書の写しを監督員に提出する。(標準仕様書による品質及び性能を有する証明となる資料の提出を省略することができる。)

形状、寸法等が設計書と異なる場合は他に支障を生じない限り監督員と協議の上処理する。
工事に使用する機材および材料は、アスベストを含有しないものとする。
国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律(平成12年法律第100号。「グリーン購入法」という。)により、環境負荷を低減できる材料を選定するように努める。
材料の選定に当たっては、揮発性有機化合物の放出による健康への影響に配慮する。
・引渡しを要するもの ()
・現場において再利用するもの ()
※ 再資源化を図るもの
・アスファルトコンクリート ・コンクリート ・木材
・コンクリート及び鉄からなる建設資材

※上記以外のものはすべて構外に搬出し、「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律(以下「建設リサイクル法」という。)、 「資源の有効な利用の促進に関する法律(以下、「資源有効利用促進法」という。)、 「廃棄物の処理及び清掃に関する法律(以下、「廃棄物処理法」という。)」その他関係法令等によるほか、建設副産物適正処理推進要綱に従い適正に処理する。
※ 建設副産物情報交換システム(COBRIS) (財)日本建設情報総合センター
本工事は登録対象工事であるため、受注者は、施工計画時、工事完了時及び登録情報の変更が生じた場合は速やかに当該システムにデータの登録を行うものとする。
また、建設リサイクル法に規定する建設資材を搬入(搬出)する場合は、次表により計画書(実施書)を提出する。なお、これにより難い場合は、監督員と協議する。

搬入	再生資源利用計画書	再生資源利用実施書
搬出	再生資源利用促進計画書	再生資源利用促進実施書

※本工事で発生する建設副産物のうち、広島県内の最終処分場に搬入する建設副産物については、広島県産業廃棄物埋立税が課税される。
なお、本工事では広島県産業廃棄物埋立税相当額を含んでいる。
建設大臣官房官庁営繕部監修「工事写真の撮り方(改訂第2版)-建築設備編」によるほか特記がない場合は、以下による。

分類	規格	撮影枚数	提出部数
着手前	L版程度(カラー)	必要に応じた数	1
工事中	L版程度(カラー)	必要に応じた数	1
完成時	L版程度(カラー)	各 景 4 面 外 景 4 面	1

建設副産物は、処分状況が確認できるよう、写真撮影を行うとともに、計量伝票等を監督員に提出する。

○各種写真は、写真帳(A4版)にて工事完成時に提出する。
○原簿等の提出 する (・ 完成時のみ ・ 全て) ○しない
○提出の方法及び形式は、監督員の指示による。
速やかに次の図書を提出する。
竣工図 ○A3版2つ折りにして製本 () 2部
○完成図 ○竣工図
○保全に関する資料(設備機器類及び一連の装置等の取扱い要領を記載した説明書等)
○竣工図電子データ(施工図含む)一式(「竣工図電子データ作成要領」による。)
○CADデータ(媒体(CD-Rなど)、データ形式等は監督員の指示による)

施工範囲 「工事区分表」による。
※契約書に基づく関連工事受注者と工程を含めた総合的な打合せを定期的に行い、監督員の調整に協力し、当該工事関係者とともに円滑な施工に努める。

① 足場
建築工事等に伴う足場及び安全仮囲いは、無償にて使用できる。
・本工事で設置する。
○内部足場 (・ 単管足場 ○ 枠組足場)
○外部足場 (○ 枠組足場 ・ 単管足場)
※枠組足場を設ける場合は、「手すり先行工法に関するガイドライン」について(厚生労働省平成21年4月)の手すり先行工法等に関するガイドラインによるものとし、足場の組立、解体変更の作業は、「手すり先行工法による足場の組立等に関する基準」の2の(2)手すり据置方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行う。
・同一場所で契約書に基づく関連工事が行われる場合は、労働安全衛生法第30条第2項に基づき、当該工事について、同条第1項に規定する措置を講ずべき者として本工事現場代理人を指名する。
○本工事は、交通誘導員として14人を見込んでいます。交通誘導員の配置については、実施伝票(原本)および配置状況のわかる立会写真の撮影を行い、監督員に提出する。
※受注者は、次表に従い、工事実績情報システム(CORINS)へ登録する。
登録内容について、あらかじめ監督員の確認を受けたのちに、次表の期間内に登録申請を行う。ただし期間には、土曜日、日曜日、祝日、年末年始の閉庁日を除く。

請負金額	工事受注時	登録内容の変更時	工事完成時
500万円以上	契約後10日以内	変更契約後10日以内	工事完成後10日以内

変更登録は、工期、技術者等に変更が生じた場合に行う(請負代金のみ変更の場合、登録不要)
※登録後は速やかに登録されたことを証明する資料を監督員に提出する。
なお、変更時と工事完成時の間が10日に満たない場合は、変更時の提出を省略できる。(登録要)
本工事は、インターネットを利用して、受発注者間の情報を電子的に交換・共有することにより、効率化を図る情報共有システムの対象工事である。
本工事で利用する情報共有システムは、「広島県工事情報共有システム」とし、当該サービス提供者との契約は受注者が行い利用料を申請者で支払うものとする。
運用に当たっては、「福山市発注工事における情報共有システム利用実施要領(建築工事)」及び「情報共有システム利用手引(建築工事)」によるものとする。
・発注者指定型
共通費として情報共有システムの利用料を見込んでいます。
受注者は、本システムを利用できない特別の事由がある場合は、工事者手までに当該事由を記載した工事打合せ簿を監督員に提出し、その承諾を得ることで本システムを利用しないことができる。
○受注者希望型(契約時の請負金額が500万円以上のものに限り)
工事費には情報共有システムの利用料を見込んでいない。
本システムの利用を希望する受注者は、工事者手までに工事打合せ簿により、監督員にその旨を申し出て、本システムを利用するものとする。
その場合の請負金額の変更については、情報共有システムの利用料を共通費扱いに見込むものとし、本システムの利用を確認した後に変更契約を行うものとする。
下記項目の測定を行ない監督員に提出する(部)
・温度 ・湿度 ・風量 ・騒音 ・振動 ・気流 ・塵埃
○飲料水(雑用水)の水質 ・浄化槽の放流水質 ・化学物質の濃度

測定箇所等は、監督員の指示による。
監督員と協議の上、設備機器類(ボイラー、冷凍機、ポンプ、空調和機等)及び一連の装置等の取扱い要領を記載した説明書を作成し、指示する箇所に取付ける。
特記なき場合は、EM電線・ケーブルとする。
標準仕様書によるほか下記による。
・運転ブロック図に適合するものとする。
・ボイラー及び冷水温水機等の附属壁の地動スイッチ二次側に煤煙濃度計用の電源端子を設ける。接点及び端子は、標準仕様書を ※ 適用する。 ・機器表特記によるインパーター用の制御及び操作盤は標準仕様書を ※ 適用する。 ・機器表特記による
○合成ゴム製 (球形) ・ペローズ形
標準仕様書によるほか図示の箇所に設ける。(舗装部分は○鉄製 ・コンクリート製)
排水管を除く地中配管には、土被り150mm程度の深さに埋設表示用テープを埋設する。
既存のコンクリート床、壁等の配管貫通部の穴明けは、原則としてダイヤモンドカッターによる。
○放射線透過検査等 ・必要 ・不要
工事の施工に伴い既成部分を汚染または損傷した場合は、既成にない限り修繕する。
ポンプ及び屋外設置機器のアンカーボルト、ナットはステンレス製 (SUS304) とし、屋外の配管、ダクトに使用する支持金物等はステンレス製 (SUS304) とし、溶融亜鉛めっき仕上げとする。
設備機器の固定は「官庁施設の総合耐震計画書及び同解説」(平成8年版・建設大臣官房官庁営繕部監修)及び「建築設備耐震設計・施工指針」(2014年版・一般財団法人日本建築センター発行)による。耐震クラスは()とする。
標準仕様書によるが、特記のないかぎり下記を標準とする。
イ) ポリスチレンフォーム-給水管配管、排水配管の多湿場所
ロ) グラスウール -----給水管配管、給湯配管、ダクト類、冷水水管配管等
ハ) ロックウール -----排気ダクト、排煙ダクト

② 足場
ベトロンタム系防食テープ (1/2重ね、1回巻き) + プラスチックテープ (1/2重ね、1回巻き)
ブチルゴム系絶縁テープ (1/2重ね、2回巻)
熱収縮材
防食用ポリ塩化ビニル粘着テープ (JIS Z 19010 0.4m/n) 1/2重ね、2回巻
標準仕様書及び図示による。
外壁の地中部分で水密を要する部分のスリーブは、つば付き銅管とし、地中部分で水密を要しない部分のスリーブは、硬質ポリ塩化ビニル管 (VU) とする。
(柱及び梁以外の箇所で、開口補強が不要であり、かつ、スリーブ径が200mm以下の部分は、紙製仮枠としてもよい。)
図面に記載されている数値以上とする。
" 以下とする。
防火区画の貫通部の処理は、建築基準法に適合する工法とする。
・ガス配管 ・高気配管 ・冷水水管配管 ・冷却水管配管 ・油管
非破壊検査の適用 ※無し
・有り (・放射線透過検査 ・浸透探傷検査または磁粉探傷検査)
判定基準 ()

③ 測定表
④ 説明板
⑤ 電線類
⑥ 機器附属の制御盤
⑦ 防振継手
⑧ 埋設表示
⑨ はつり工事
⑩ 補修など
⑪ 支持金物・固定金具
⑫ 耐震施工
⑬ 保温材
⑭ 鋼管類の地中埋設
⑮ 鋼管類の地中埋設 (コンクリート内等)
⑯ 塗装
⑰ スリーブ
⑱ 機器性能
⑲ 電気容量
⑳ 防火区画の貫通処理
㉑ 溶接配管の検査

⑳ 機器性能
㉑ 電気容量
㉒ 防火区画の貫通処理
㉓ 溶接配管の検査
⑳ 機器性能
㉑ 電気容量
㉒ 防火区画の貫通処理
㉓ 溶接配管の検査
⑳ 機器性能
㉑ 電気容量
㉒ 防火区画の貫通処理
㉓ 溶接配管の検査

34 化学物質の測定
・測定対象化学物質 () ・測定方法 ()
・測定対象室 () ・測定箇所 ()
③ 施工調査
事前調査 調査項目(本工事範囲において着工前に納まり等の調査を行う。)
36 その他
工事着手に先立ち、設計図面 (A3版縮小) 製本を提出する。 _____ 部

仮設工事
① 工事現場仮囲い
② 受注者事務所等
③ 工事用水
④ 工事用電力
⑤ 引渡しまでの光熱水費

○ナイロンロープ張り ・木製仮囲い ・鋼製仮囲い ・しない
・敷地内に建てることのできる。
構内既存の施設 ・有償で利用できる (測メーター設置等) ・無償で利用できる ○利用できない
構内既存の施設 ・有償で利用できる (測メーター設置等) ・無償で利用できる ○利用できない
・本引込みより引渡しまでの基本料金 ※ 受注者負担 ・別途
・本引込みより引渡しまでの使用料金 ※ 受注者負担 ・別途

衛生器具
1 衛生陶器附属品
2 大便器
3 小便器
4 大便器洗浄弁
5 洗浄用タンク
6 便座
7 化粧網
8 化粧鏡
9 和風便器耐火カバー
10 手洗器
11 洗面器
12 紙巻器
13 水栓
14 水セッケン入れ (水セッケン具)
15 セッケン受け

・和風便器は埋込型とし、コンクリート接触面は継ぎ材塗装加工とする。
・国産陶器品番 JIS記号 ・国産陶器品番 TOTO記号 (同等品以上)
・フラッシュバルブ ・ロータンク
・フラッシュバルブ ・自動洗浄 (個別・集電) ・
・バキュームブレーカー付
・陶器製 ・防露形陶器製 ・合成樹脂製 ・防露形合成樹脂製
・普通便座 (・蓋有り ・蓋無し) ・温水洗浄便座 ・暖房便座
・陶器製 ・金属製
・一般鏡 ・耐食鏡 ・盗難防止形
・設ける (ピット体除く) ・設けない
止水栓付
止水栓付
竣工時ペーパーを設置する。
(・ワンタッチ式 ・ワンハンドカット式)
・台所流し用水栓は、泡沫式とする。
竣工時水セッケンを補充する。
・陶器付形 ・壁付形
・埋込形 ・壁付形

給排水
① 給水方式
② 管
③ 井
④ フレキシブルジョイント
⑤ 伸縮管継手
⑥ 高置水槽
⑦ 受水槽
⑧ 鋼板製水槽の防錆
⑨ 排水及び給水給水ポンプ
⑩ 排水基礎

(1号棟) (2号棟)
○直結直圧式 ○直結増圧式 ・高置水槽式 ・受水槽方式
・水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管 (JWWA K 116) SGP-VB
・内外面水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管 (JWWA K 116) SGP-VD
○水道用硬質ポリ塩化ビニル管 (JIS K 6742) (○H1VP・VP)
・架橋ポリエチレン管 (JIS K 6769、JIS K 6787)
・ポリブテン管 (JIS K 6778、JIS K 6792)
○ポリエチレン管 (JIS K 6762、JWWA K 144)
・一般配管用ステンレス鋼管 (JIS G 3448) SUS304
○JIS 10K (市水道に直結する配管に使用)
・JIS 5K (高置水槽以降の配管に使用)
・ステンレス製ペローズ形 ○合成ゴム製円筒形
・ペローズ形単式 ・ペローズ形複式
・FRP製 (サンドイッチ構造) ・FRP製
・鋼板製 (・パネル形 ・一体形) ・ステンレス製パネル (・溶接 ・ボルト)
・FRP製 (サンドイッチ構造) ・FRP製
・鋼板製 (・パネル形 ・一体形) ・ステンレス製パネル (・溶接 ・ボルト)
・エポキシ樹脂コーティング ・亜鉛アルミニウム及びその合金溶射
○ 50 φ × 180 L/min × 13m × 1.1kg × 1台
○標準型 ・防振型 (2号棟)

⑪ 井
⑫ 管
⑬ 弁
⑭ 弁
⑮ 弁
⑯ 弁
⑰ 弁
⑱ 弁
⑲ 弁
⑳ 弁
㉑ 弁
㉒ 弁
㉓ 弁
㉔ 弁
㉕ 弁
㉖ 弁
㉗ 弁
㉘ 弁
㉙ 弁
㉚ 弁
㉛ 弁
㉜ 弁
㉝ 弁
㉞ 弁
㉟ 弁
㊱ 弁
㊲ 弁
㊳ 弁
㊴ 弁
㊵ 弁
㊶ 弁
㊷ 弁
㊸ 弁
㊹ 弁
㊺ 弁
㊻ 弁
㊼ 弁
㊽ 弁
㊾ 弁
㊿ 弁

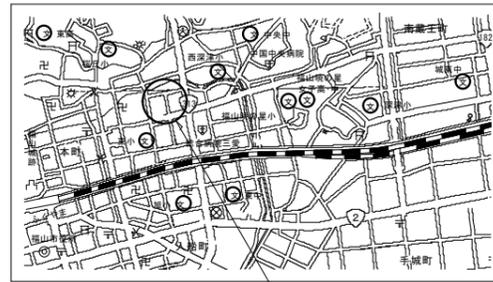
・水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管 (JWWA K 116) SGP-VB
・内外面水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管 (JWWA K 116) SGP-VD
○水道用硬質ポリ塩化ビニル管 (JIS K 6742) (○H1VP・VP)
(表示SOA未満)
○ポリエチレン管 (JIS K 6762、JWWA K 144)
(表示SOA未満)
・架橋ポリエチレン管 (JIS K 6769、JIS K 6787)
・ポリブテン管 (JIS K 6778、JIS K 6792)
・一般配管用ステンレス鋼管 (JIS G 3448) SUS304
○JIS 10K (市水道に直結する配管に使用)
・JIS 5K (高架水槽以降の配管に使用)
○市規格品 ○VCF形 ・市販品
○買入 ○借用
○水道規格形 ○MC形
○300mm以上(車両道路以外) ○600mm以上(車両道路) ○凍結深度(400mm)以上
・標準図による。
・変位を吸収できるようにスリクションとする。
・リモート型 ・流量計 台
鋼管の接合は管端コア付継手等を使用する。
給水管の最小管径は、原則として呼び径20とする。
水圧試験は配管途中、隠へ埋戻し前又は配管完了後の被覆施工前、監督員立会いの上、規定の水圧試験を行う。
・配管工事中に管内に異物の混入なきよう充分に注意し、工事完成前に監督員立会いの上、水質検査をして結果を報告する。
・飲料水以外の給水管は、誤接続がないことを確認するため衛生器具等の取付完了後、系統毎に着色水を用いた通水試験等を行う。

三吉町改良住宅1・2号棟給水設備改修工事

機械設備工事特記仕様書 No. 1

2025年 3月

福山市建設局建築部設備課



工事場所

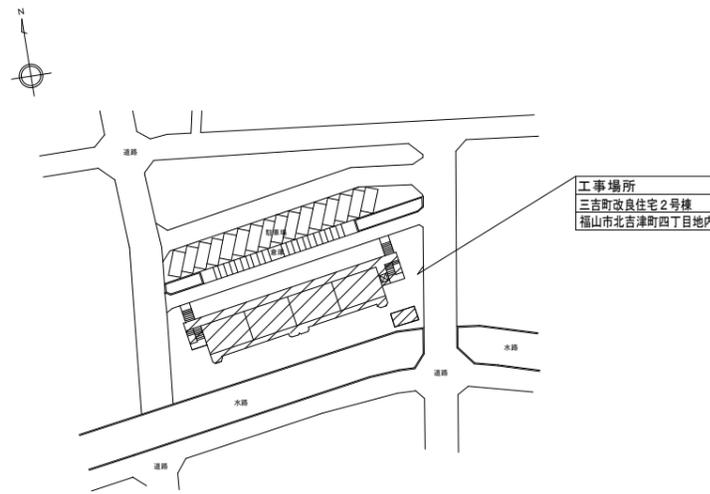
附近見取図 S=N, S

工事概要

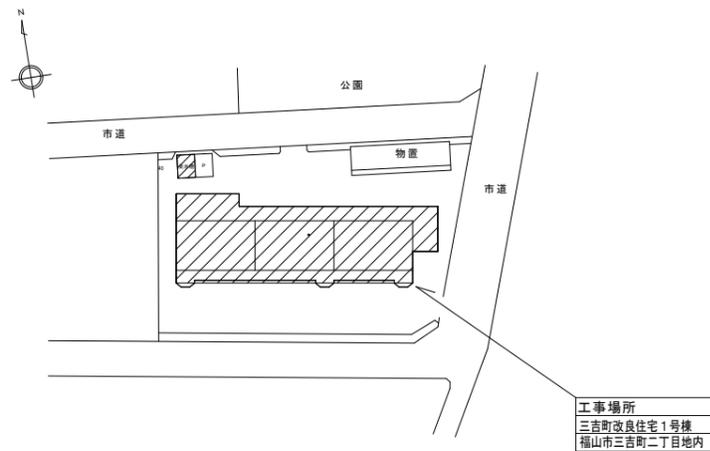
本工程は、市配水管より各戸迄の給水管を先行で更新し、その後、PS内各戸メーターから市水道局水道メーターに切替える工事である。

特記事項

1. 施工前の水質検査を行う。
2. 工事工程は、関連工事と調整の上、市営住宅入居者と協議し生活に支障が出ないように行う。
3. 市営住宅入居者の怪我のないよう、注意看板・養生を行う。
4. 断水、騒音、振動等市営住宅入居者の生活に影響が生じる場合は、事前に連絡する。(文章、声かけなど)
5. 工事中、断水が必要な場合は、管理者及び水道局と協議を行う。
6. 既設給水管への新設給水管接続時には、水の汚れ、異物が入らないよう管洗浄を十分行う。
7. 隔測水道メーターから市水道局への更新時は、水道局と事前協議を十分行う。
8. 市水道局水道メーター取付に伴う検査日を事前に調整し、立会いをする。
9. 竣工完了時の完了検査(日程調整含む)を受検する。
10. ソフトシール弁のハンドルを予備品で納入する。(2個)
11. 舗装復旧範囲は、舗装影響部を含む。
12. 2号棟ポンプ室配管保温剤(エルボ部分)にアスベストが含有のため対応を行う。



工事場所
三吉町改良住宅2号棟
福山市北吉津町四丁目地内



工事場所
三吉町改良住宅1号棟
福山市三吉町二丁目地内

配置図 S=N・S

縮尺率
A-1: 100%
A-2: 71%
A-3: 50%

工事名称 三吉町改良住宅1・2号棟給水設備改修工事		日付 2025年 3月	I . 設備企画 〒721-0952 広島県福山市環町五丁目22番41号 TEL (084) 981-4877	福山市建設局建築部設備課						図面NO. W 2
図面名称 附近見取図・配置図		縮尺 N・S		主務 係員 第1担当次長 課長補佐 設備課長 建築部長						

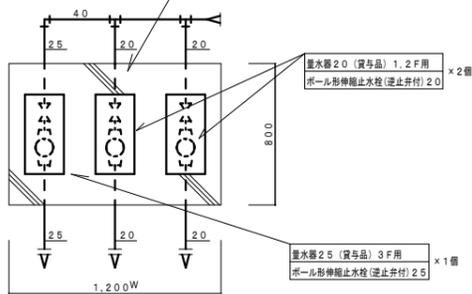
凡例 (1号棟屋外)

記号	名称	施工場所	管種	保温仕様
———	給水管	本管取出し～ 敷地内止水栓迄	水道用高性能ポリエチレン管 (PEP)	裸・地中埋設配管
———	給水管	上記区間の 地中埋設配管	水道用耐衝撃性硬質塩化ビニル管 (HIVP)	裸・地中埋設配管

屋外給水器具リスト (1号棟)

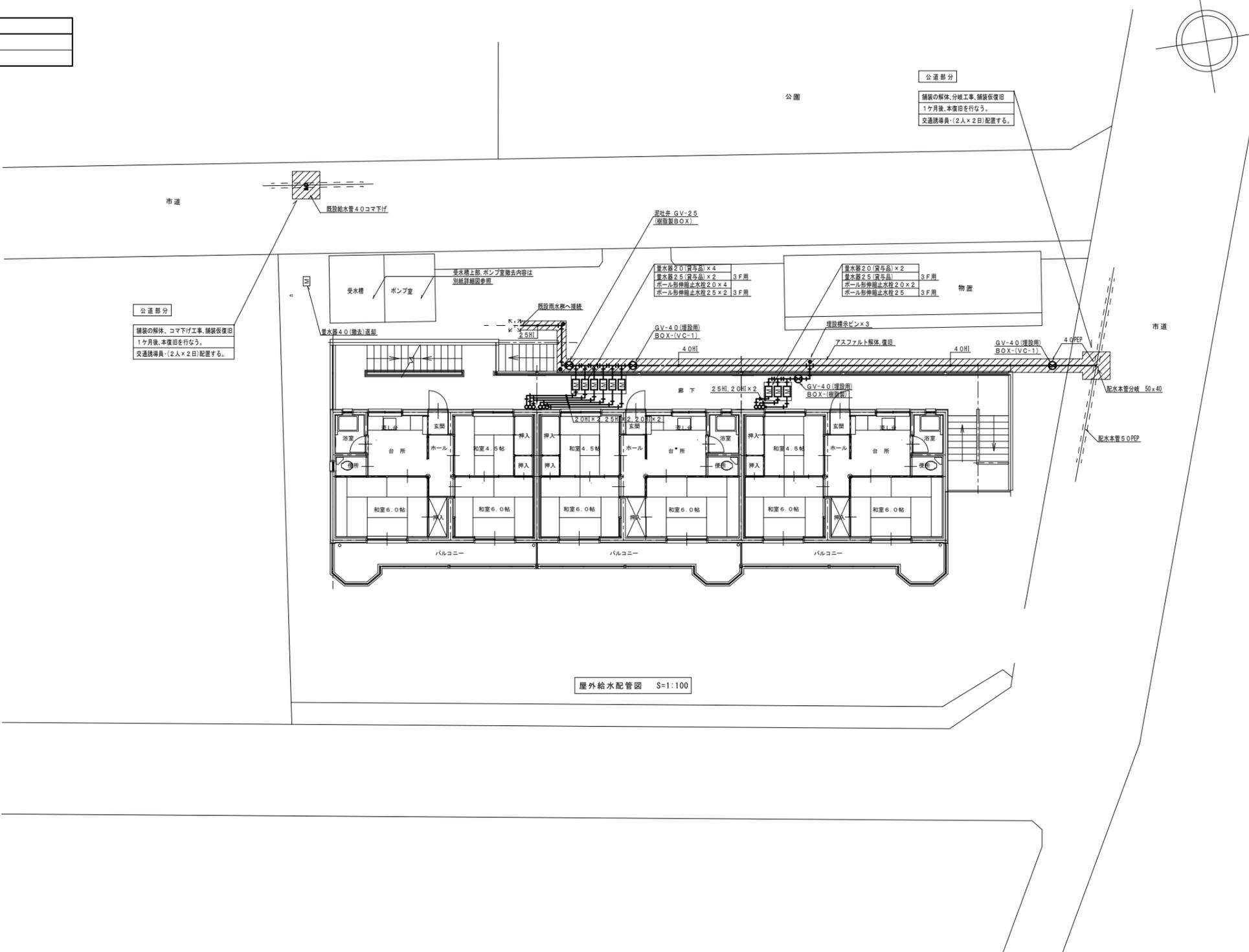
品名	仕様	数量
ゲート弁	2.5 (埋設用) (10K)	1
ゲート弁	4.0 (埋設用) (10K)	3
全上BOX	VC-1×2 樹脂製×2	4
量水器	2.0 (貸与品) 直読式	6
量水器	2.5 (貸与品) 直読式	3
ボール形伸縮止水栓	(逆止弁付) 2.0	6
ボール形伸縮止水栓	(逆止弁付) 2.5	3
量水器BOX	2.0～2.5A用 (樹脂製)	9
埋設標示ピン		3

コンクリート補強内容
 周辺のコンクリート巻部分の掘削、整地
 補強用金網取付後、コンクリート打 (厚-150t)
 天端4面は面取りを行なう。天端は地盤面より10～15mm上げる



量水器BOX廻り要領図 S=1:20 (要領図は量水器3個の場合)6個設置の場合は、Wは2400とする。

※量水器の配置は、配管ルート(1～3F)に合わせる。



公道部分
 舗装の解体、分岐工事、舗装後復旧
 1ヶ月後、本復旧を行なう。
 交通誘導員(2人×2日)配置する。

公道部分
 舗装の解体、コマ下げ工事、舗装後復旧
 1ヶ月後、本復旧を行なう。
 交通誘導員(2人×2日)配置する。

縮尺率	A-1: 100%
	A-2: 71%
	A-3: 50%

福山市建設局建築部設備課

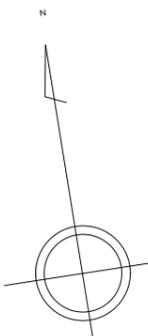
主務 係員 第1担当次長 課長補佐 設備課長 建築部長

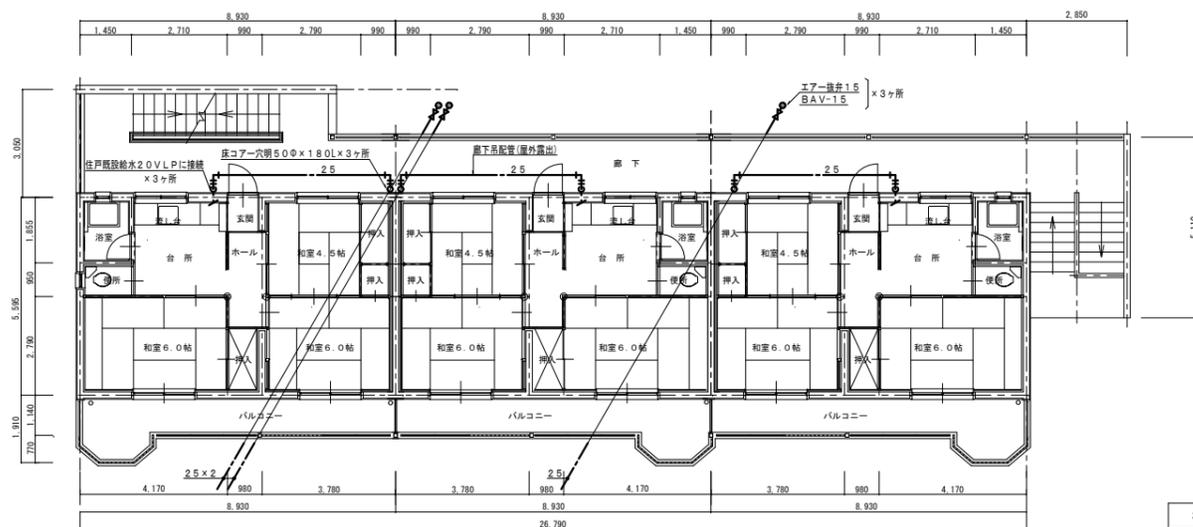
〒721-0952
 広島県福山市環町五丁目22番41号
 TEL (084) 981-4877

図面NO. W 3

工事名称	三吉町改良住宅1・2号棟給水設備改修工事	日付	2025年 3月
図面名称	1号棟 屋外給水配管図 (改修後)	縮尺	1:100

I. 設備企画

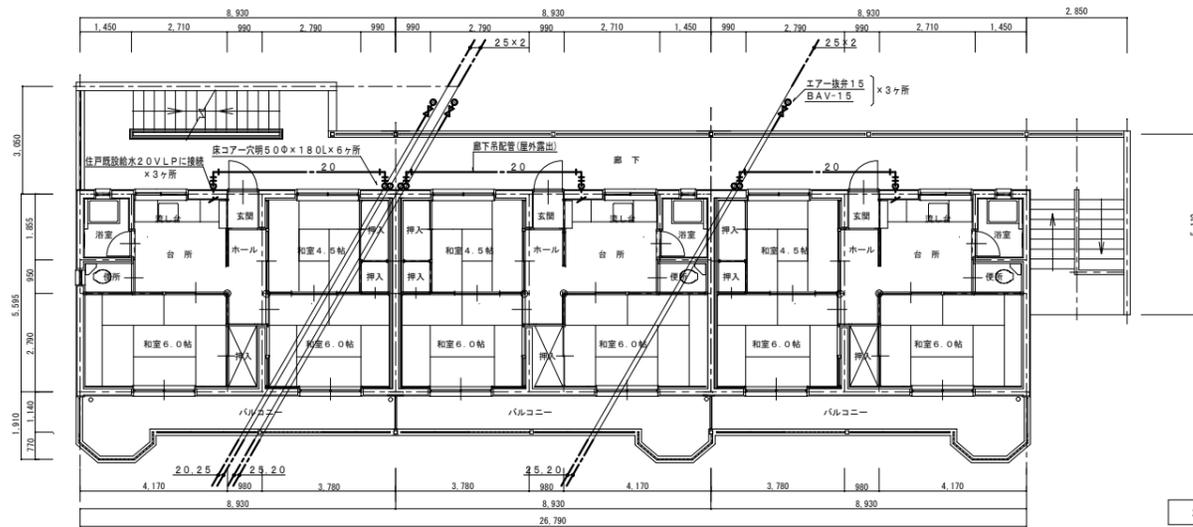




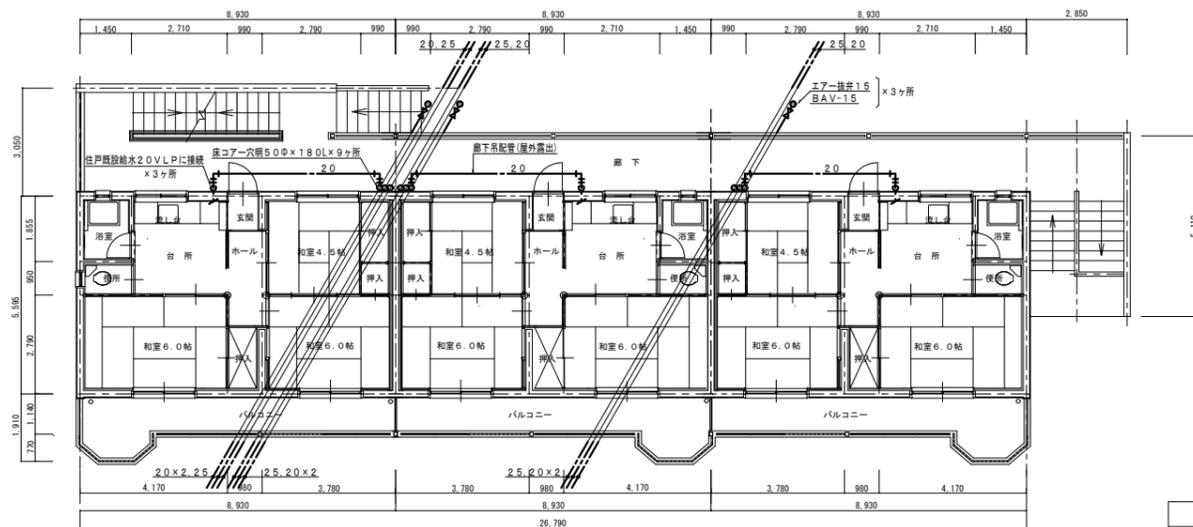
3階平面図 S=1:100

凡例 (屋内配管)				
記号	名称	施工場所	管種	保温仕様
---	給水管	廊下給水立管	水道用耐衝撃性硬質塩化ビニル管 (HIVP)	PF保温層+ステンレス鋼板
---		廊下吊橋引配管	水道用耐衝撃性硬質塩化ビニル管 (HIVP)	PF保温層+ステンレス鋼板

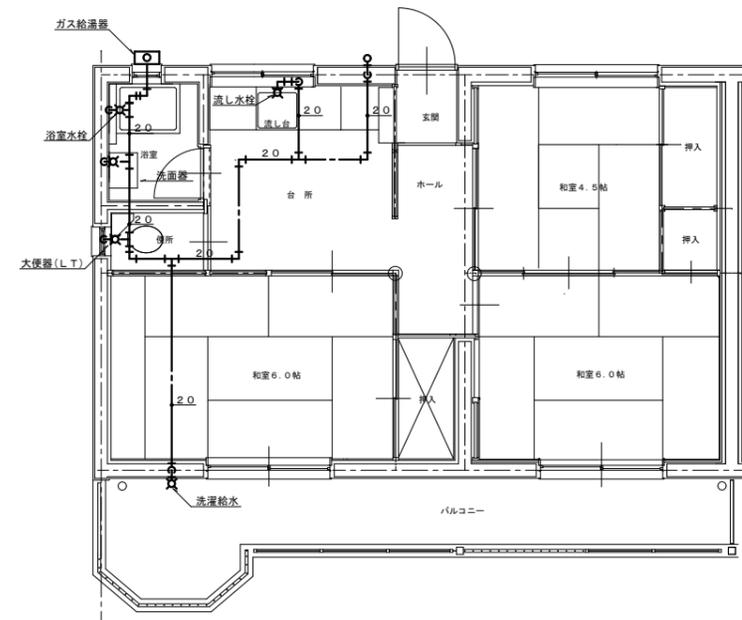
器具リスト (1~3F)		
品名	仕様	数量
エア-換弁	1.5	9
ボールバルブ	1.5 (10K)	9



2階平面図 S=1:100



1階平面図 S=1:100

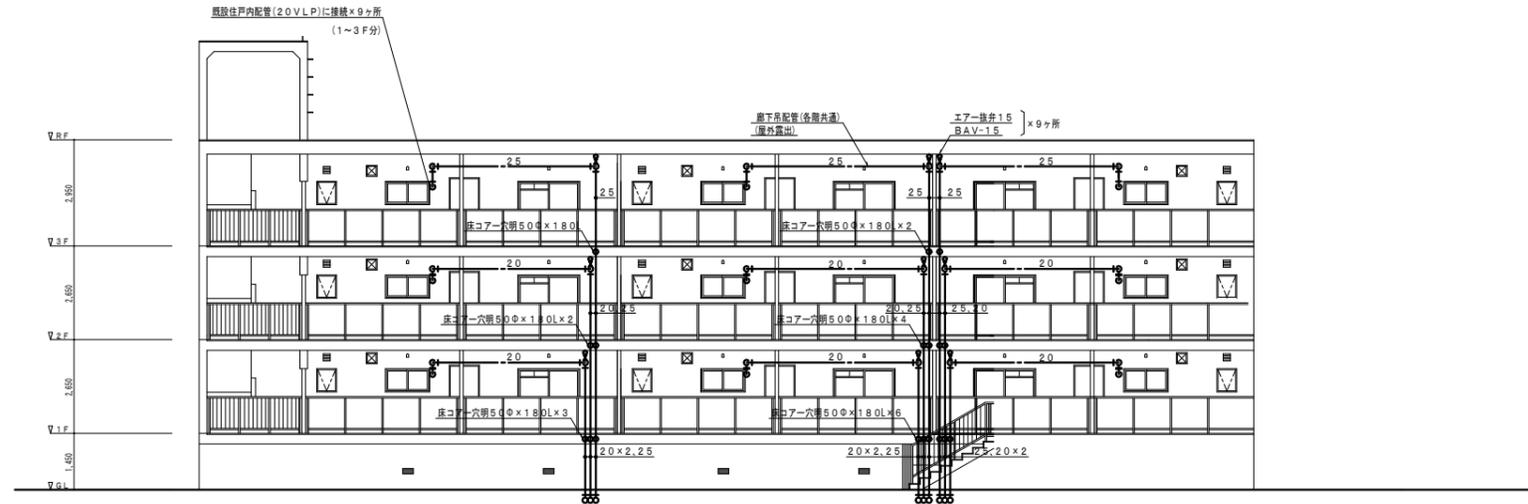


3階最遠部住戸給水配管 S=1:50(参考図)
※改修工事範囲外

縮尺率
A-1: 100%
A-2: 71%
A-3: 50%

廊下架空配管注記事項

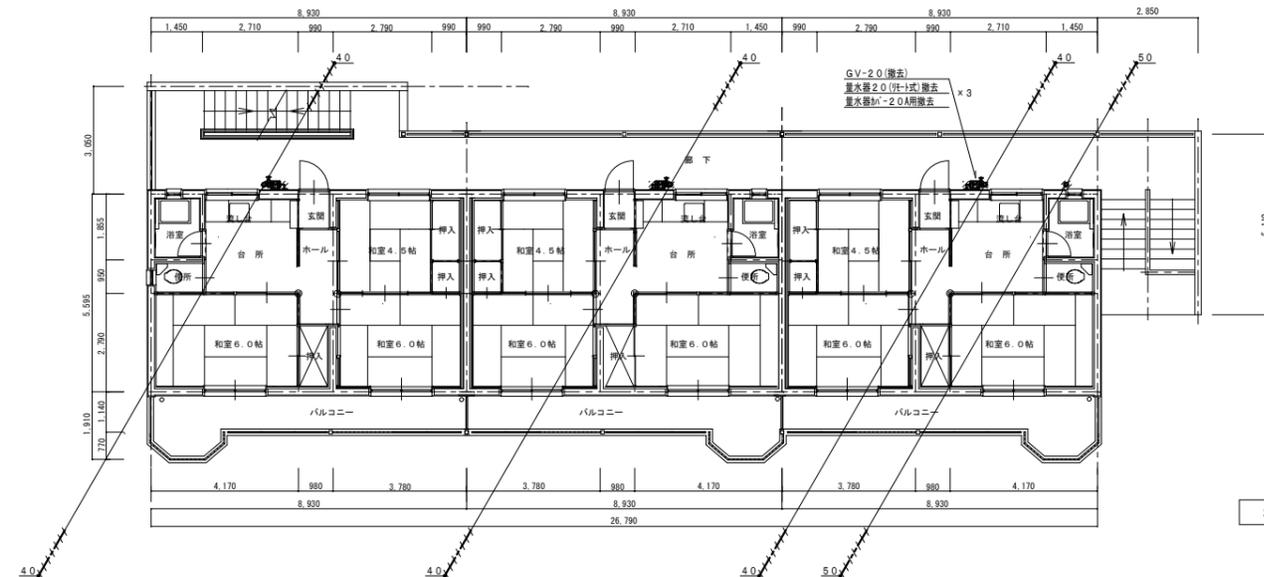
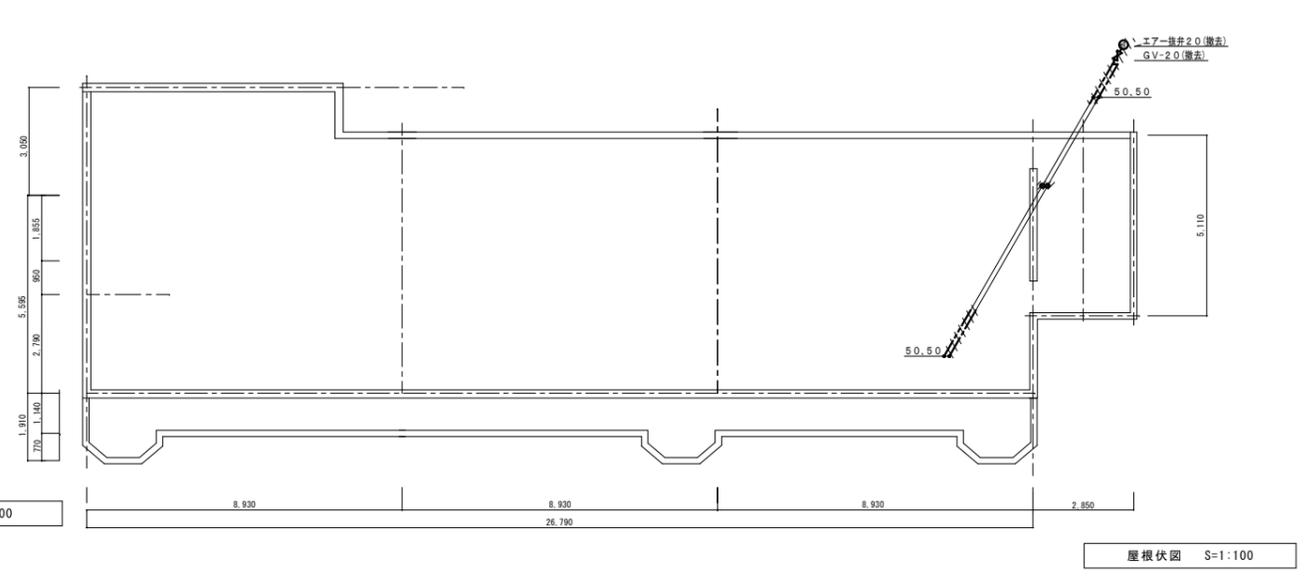
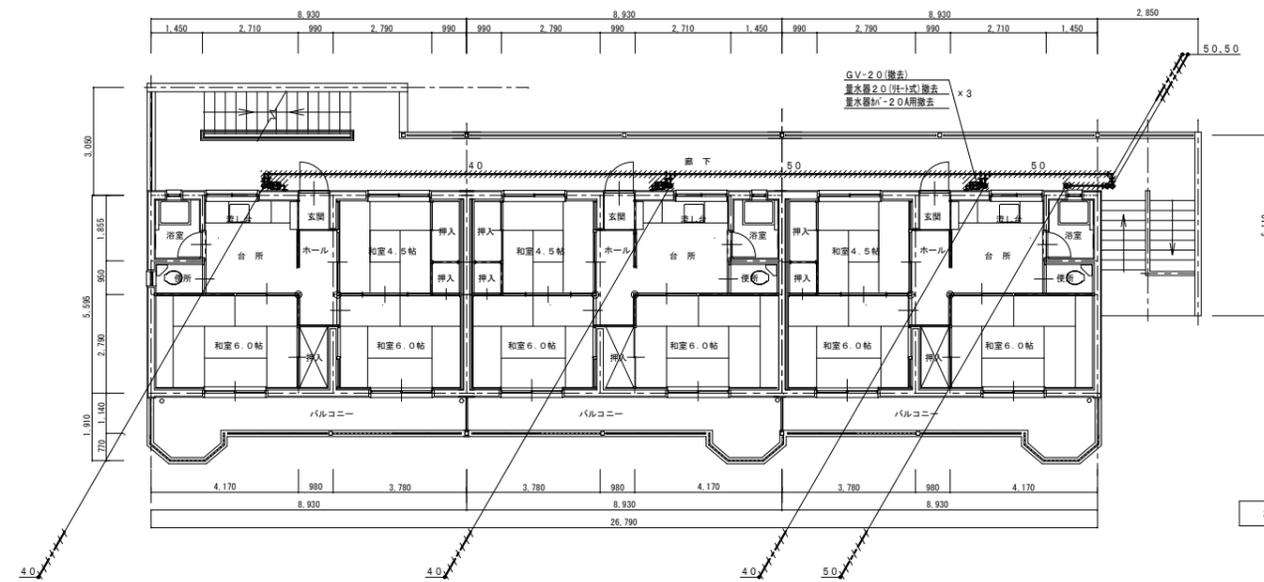
- ・管材は、すべて、20A.25A H1VPとする。
- ・立て管、横走り管の支持金物取付ピッチは、すべて、1.0m以下とする。
- ・棒鋼及び、取付バンドは、すべて、SUS製とする。
- ・横引配管は、必要に応じて、振れ止め支持金物(SUS製)を、取付る。



北立面図 S=1:100

縮尺率	A-1: 100%
	A-2: 71%
	A-3: 50%

<p>工事名称 三吉町改良住宅1・2号棟給水設備改修工事</p>		<p>日付 2025年 3月</p>		<p>I. 設備企画</p>		<p>福山市建設局建築部設備課</p>		<p>図面NO.</p>	
<p>図面名称 1号棟 北立面図 (改修後)</p>		<p>縮尺 1:100</p>		<p>〒721-0952 広島県福山市環町五丁目22番41号 TEL (084) 981-4877</p>		<p>主務 係員 第1担当次長 課長補佐 設備課長 建築部長</p>		<p>W 5</p>	



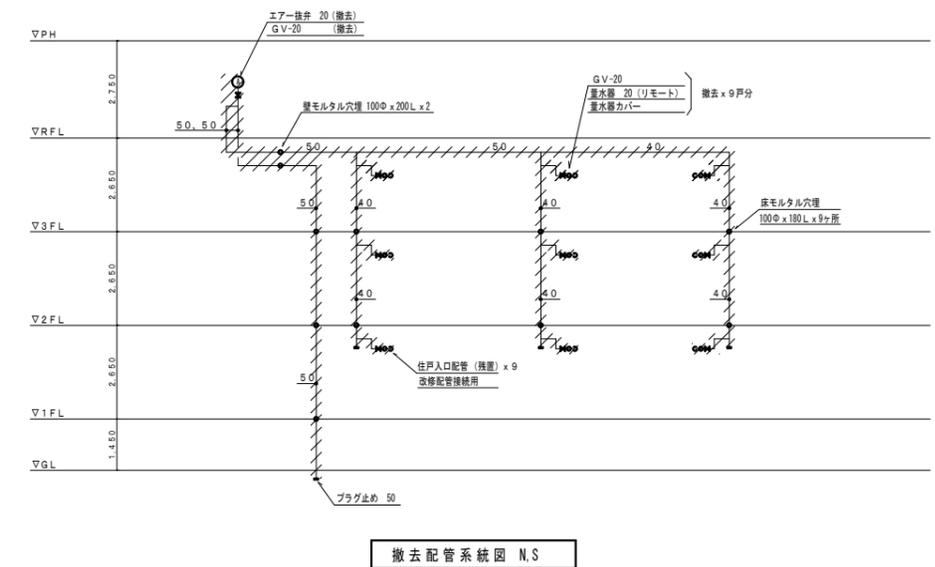
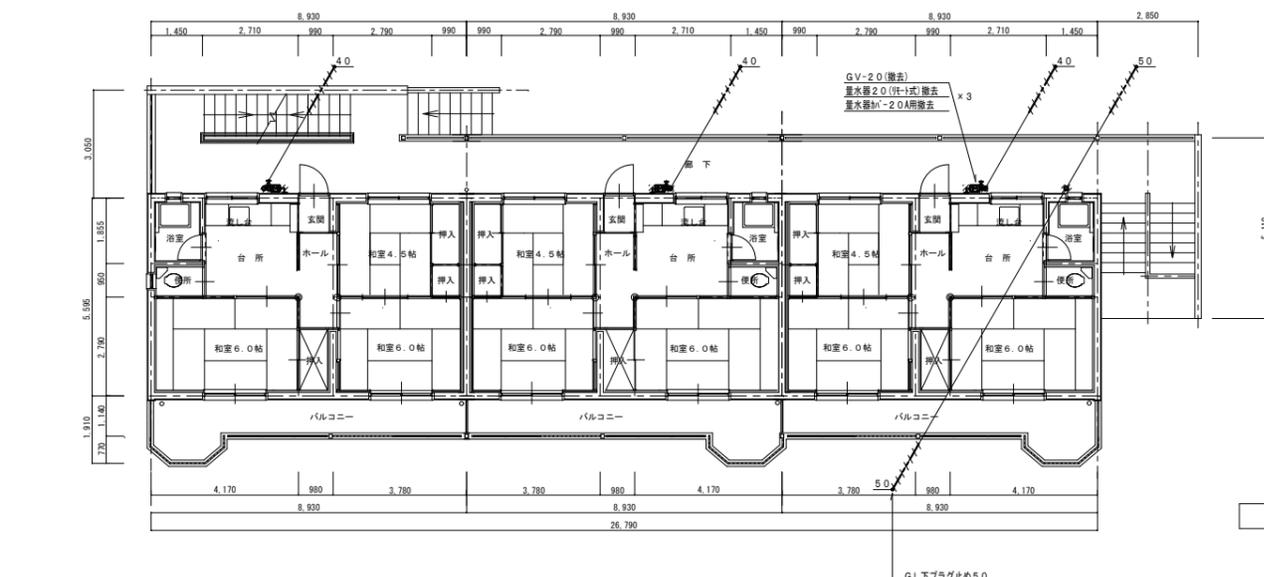
撤去器具リスト

ゲート弁	20A	10
量水器	20A (リモート式)	9
量水器保温カバー	20A用	9
エアークレキ弁	20A	1

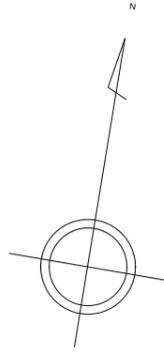
●量水器は、撤去後返却とする。

撤去配管材	硬質塩化ビニルライニング鋼管
保温材	GW+亜鉛鉄板巻

撤去配管、器具



縮尺率
A-1: 100%
A-2: 71%
A-3: 50%



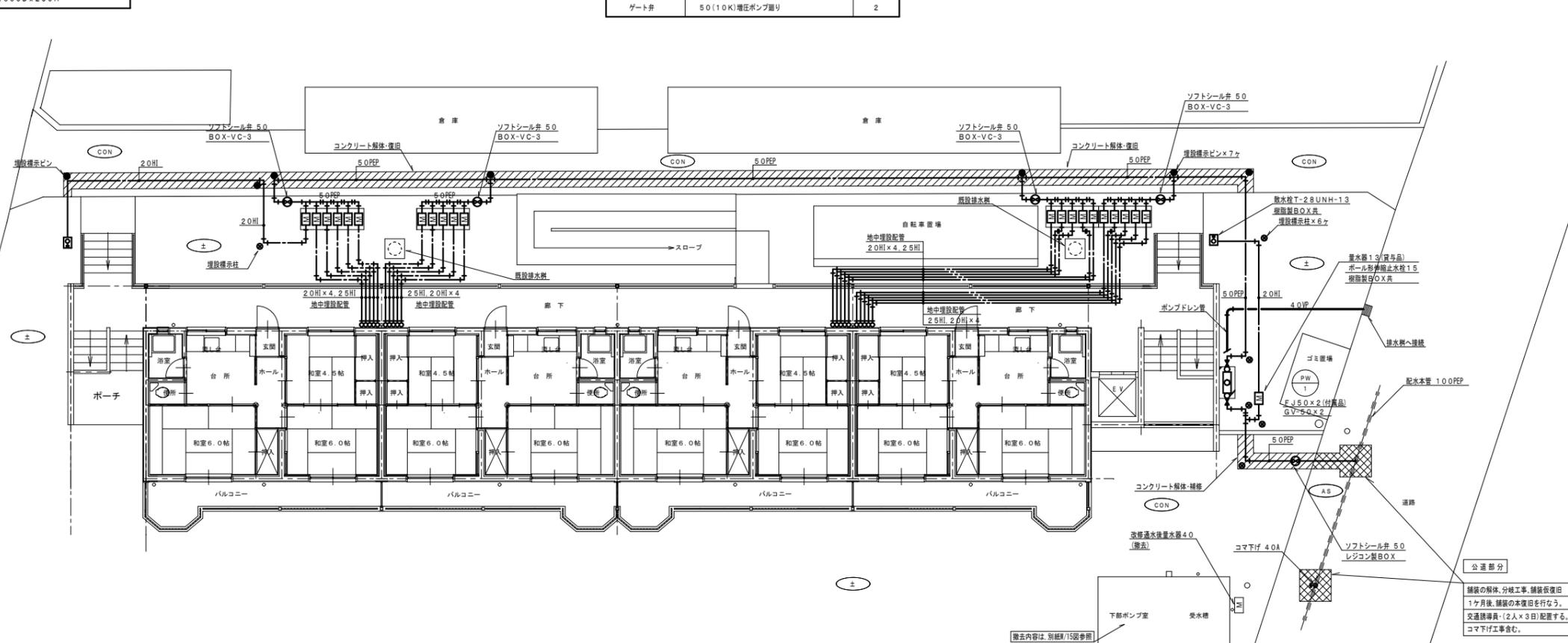
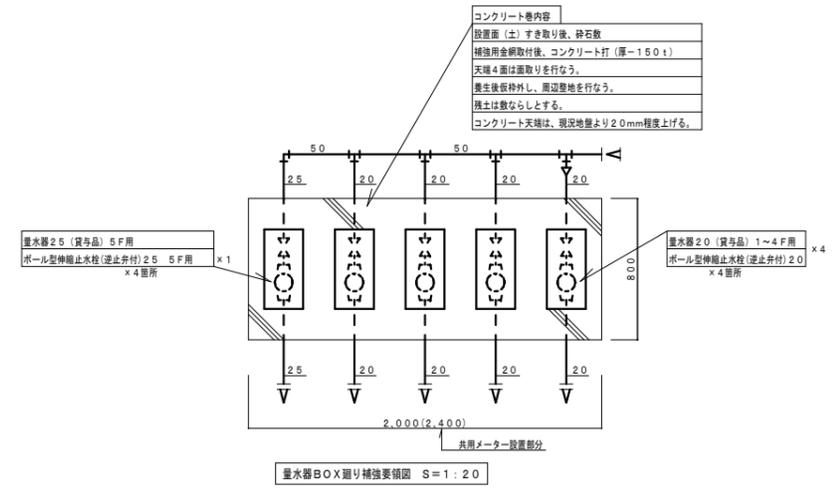
凡例

記号	名称	施工場所	管種	保護仕様
---	給水管	配水本管・メーター分岐配管	水道用高性能ポリエチレン管 (PEP)	裸・地中埋設配管
---	給水管	屋外地中配管 (共用給水管共)	水道用耐衝撃性硬質塩化ビニル管 (HIVP)	裸・地中埋設配管
---		F/P 漏り露出管	水道用高性能ポリエチレン管 (PEP)	PF+SUS鋼板
---	排水管	ポンプドレン	ポリ硬質塩化ビニル管 (VP)	裸・地中埋設配管

PW 1 水道高圧加圧ポンプユニット	
形式	キャビネット型 (ステンレス製) 屋外設置
仕様	50A x 50A x 180L / M x 13M
運転方式	自動交互運転
電源	3φ200V・1.1kw
付属品	球型フレキシブル×2、転倒防止金具他
コンクリート基礎	1200W x 600D x 250H

屋外給水器具リスト

品名	仕様	数量
ソフトシール弁	50 (引込管敷地内)	1
全上BOX	レジコン製 (引込管敷地内)	1
量水器	13 (貸与品) 直読式 共用取水用	2
量水器	20 (貸与品) 直読式	16
量水器	25 (貸与品) 直読式	4
ボール形伸縮止水栓	(逆止弁付) 15	2
ボール形伸縮止水栓	(逆止弁付) 20	16
ボール形伸縮止水栓	(逆止弁付) 25	4
量水器BOX	20~25A用 (樹脂製) 1~5F住戸用	20
量水器BOX	13A用 (樹脂製) 共用取水用	2
ソフトシール弁	50	4
全上BOX	VC-3	4
埋設標示ピン	コンクリート部分	7
埋設標示柱	土部分	6
ゲート弁	50 (10K) 増圧ポンプ廻り	2



2号棟屋外給水配管図 S=1:100

縮尺率	A-1: 100%
	A-2: 71%
	A-3: 50%

福山市建設局 建築部 設備課

主務 係長 第1担当次長 課長補佐 設備課長 建築部長

図面NO. W 8

工事名称 三吉町改良住宅1・2号棟給水設備改修工事

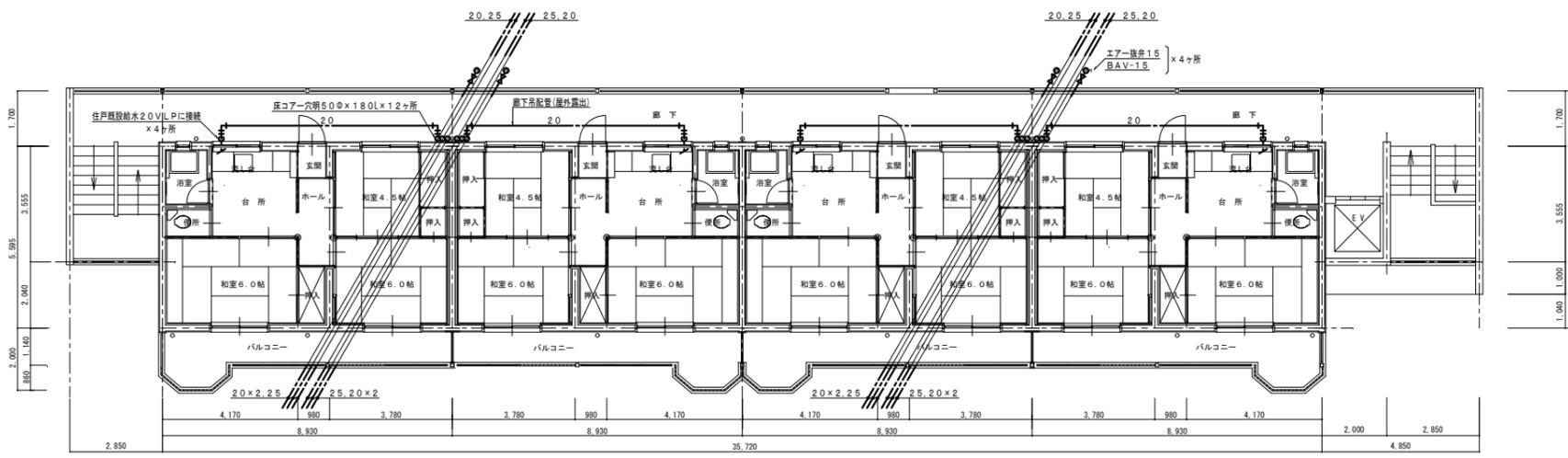
日付 2025年 3月

I. 設備企画

〒721-0952 広島県福山市環町五丁目2番41号 TEL (084) 981-4877

図面名称 2号棟 屋外給水配管図 (改修後)

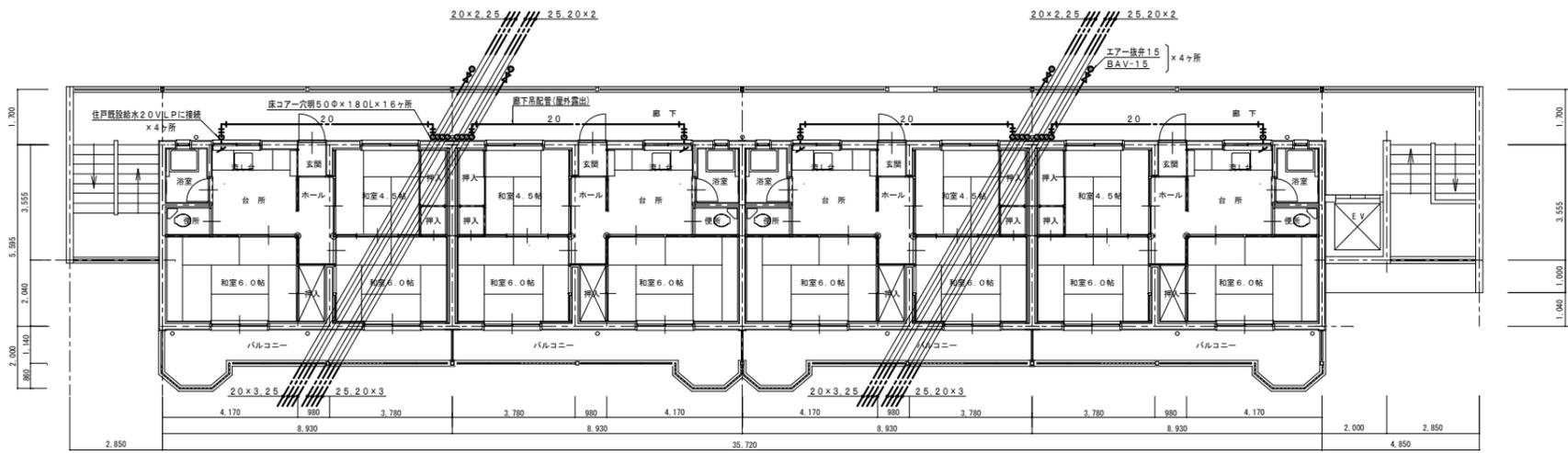
縮尺 1:100



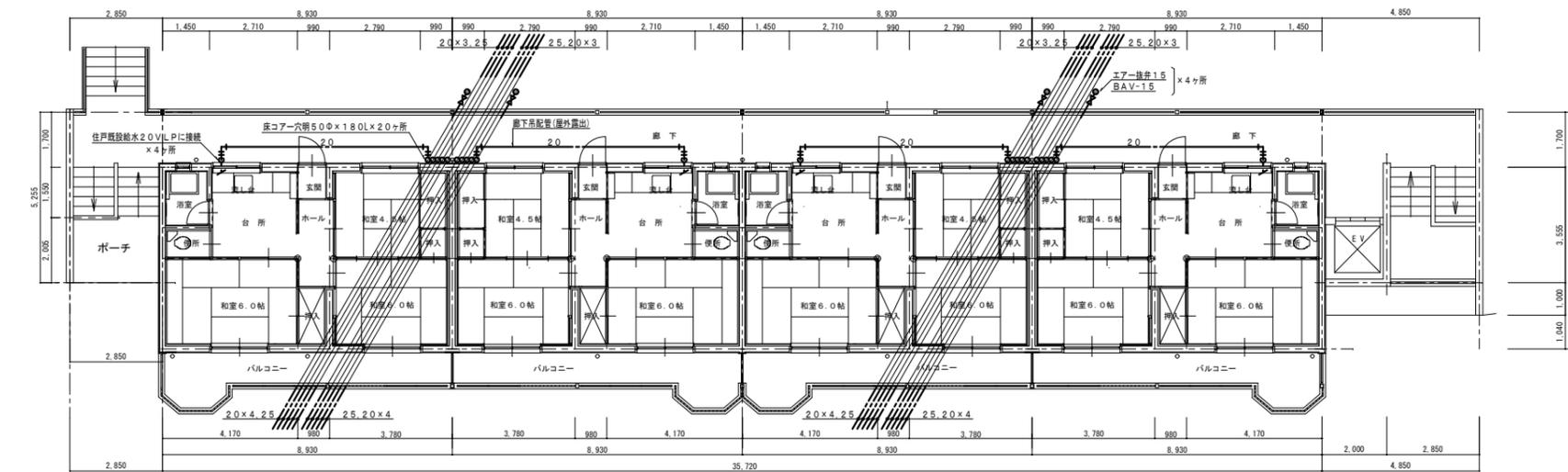
3階平面図 S=1:100

凡 例 (屋内配管)				
記号	名称	施工場所	管種	保温仕様
---	給水管	廊下給水立管	水道用耐衝撃性硬質塩化ビニル管(H1VP)	PF保温断熱+ステンレス鋼板
---		廊下吊橋引配管	水道用耐衝撃性硬質塩化ビニル管(H1VP)	PF保温断熱+ステンレス鋼板

器具リスト (1~3F)		
品名	仕様	数量
エアー排弁	15	12
ボールバルブ	15(10K)	12



2階平面図 S=1:100



1階平面図 S=1:100

縮尺率
A-1: 100%
A-2: 71%
A-3: 50%

工事名称
三吉町改良住宅1・2号棟給水設備改修工事
日付
2025年 3月
縮尺
1:100

I. 設備企画
〒721-0952
広島県福山市環町五丁目2番41号
TEL (084) 981-4877

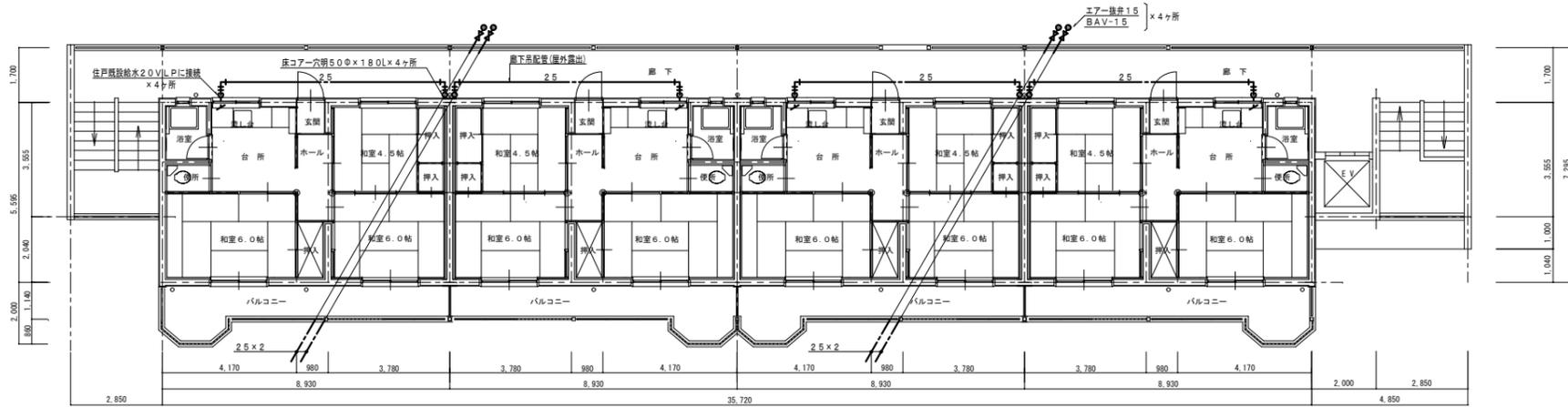
福山市建設局建築部設備課

主務	係員	第1担当次長	課長補佐	設備課長	建築部長
----	----	--------	------	------	------

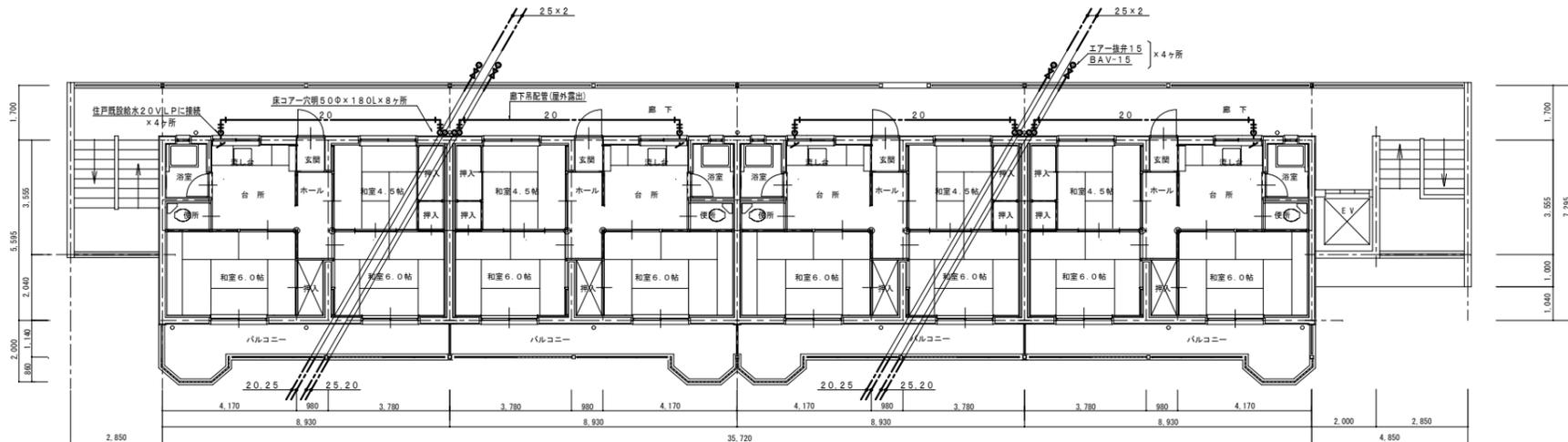
図面NO. W 9

凡例 (屋内配管)				
記号	名称	施工場所	管種	保温仕様
---	給水管	廊下給水立管	水道用耐衝撃性硬質塩化ビニル管 (HIVP)	PF保温層+ステンレス鋼板
		廊下吊り引配管	水道用耐衝撃性硬質塩化ビニル管 (HIVP)	PF保温層+ステンレス鋼板

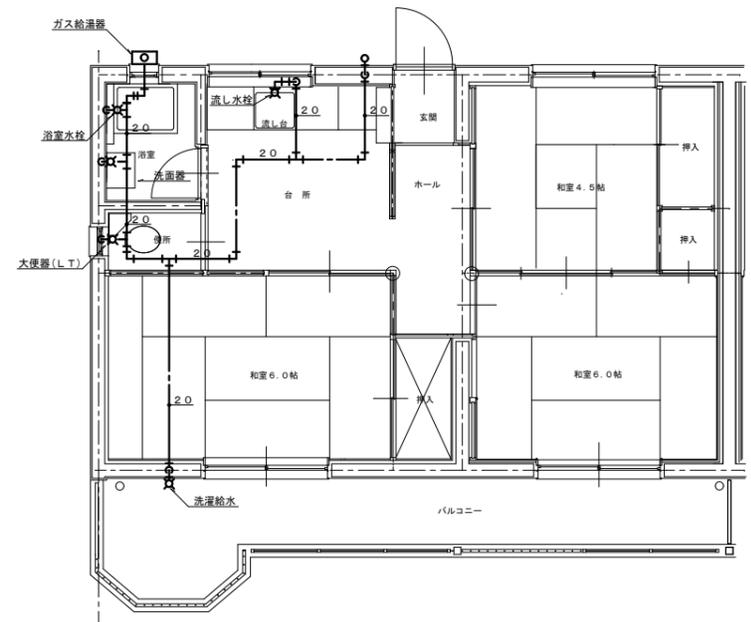
器具リスト (4.5F)		
品名	仕様	数量
エアークレナー	15	8
ボールバルブ	15 (10K)	8



5階平面図 S=1:100



4階平面図 S=1:100

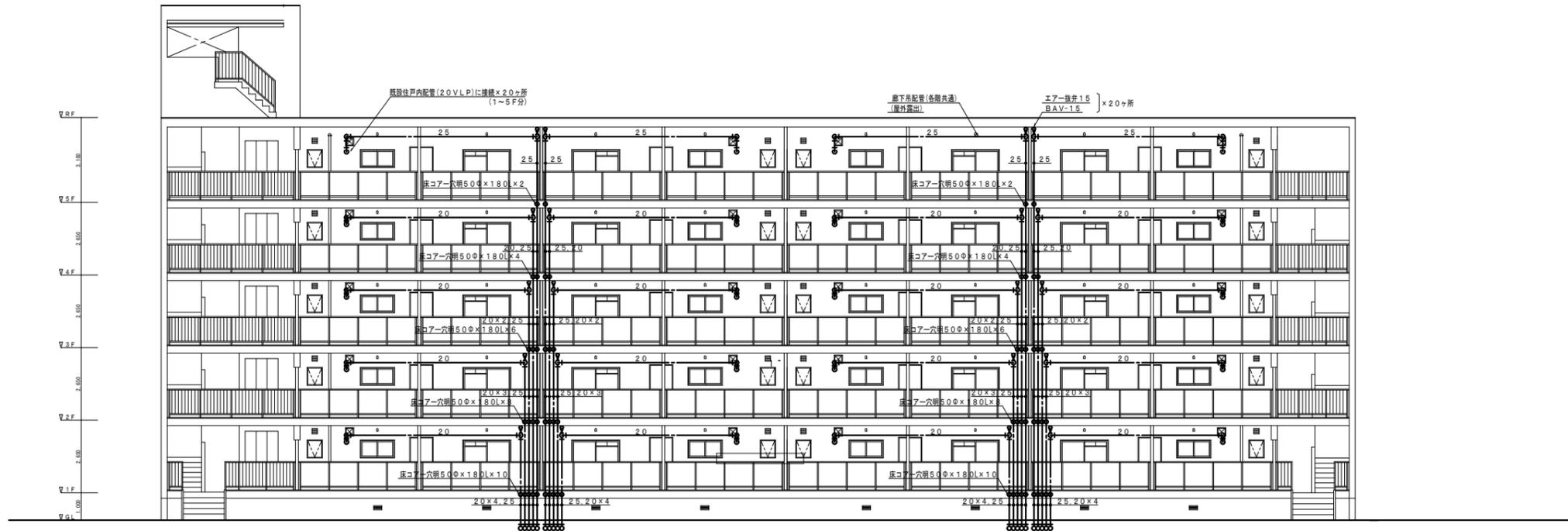


5階最遠部住戸給水配管 S=1:50(参考図)
※改修工事範囲外

縮尺率
A-1: 100%
A-2: 71%
A-3: 50%

廊下架空配管注記事項

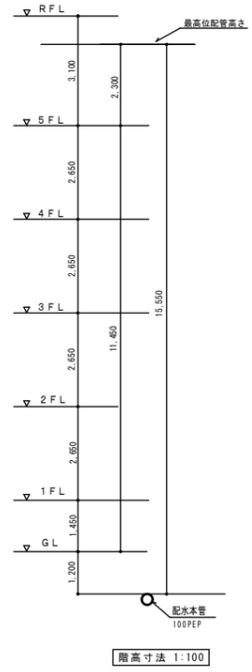
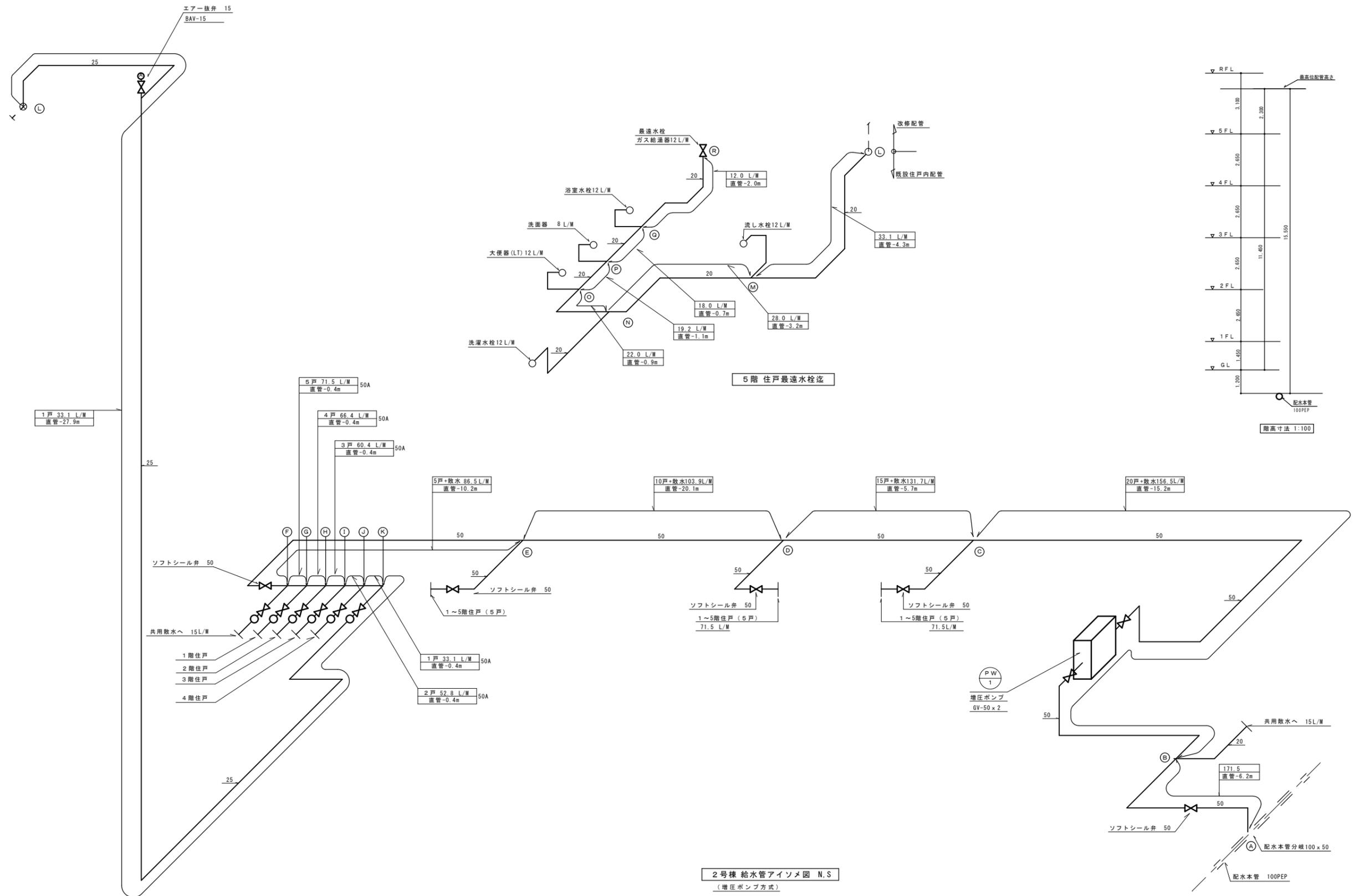
- ・管材は、すべて、20A.25A H1VPとする。
- ・立て管、横走り管の支持金物取付ピッチは、すべて、1.0m以下とする。
- ・棒鋼及び、取付バンドは、すべて、SUS製とする。
- ・横引配管は、必要に応じて、振れ止め支持金物(SUS製)を取付る。



北立面図 S=1:100

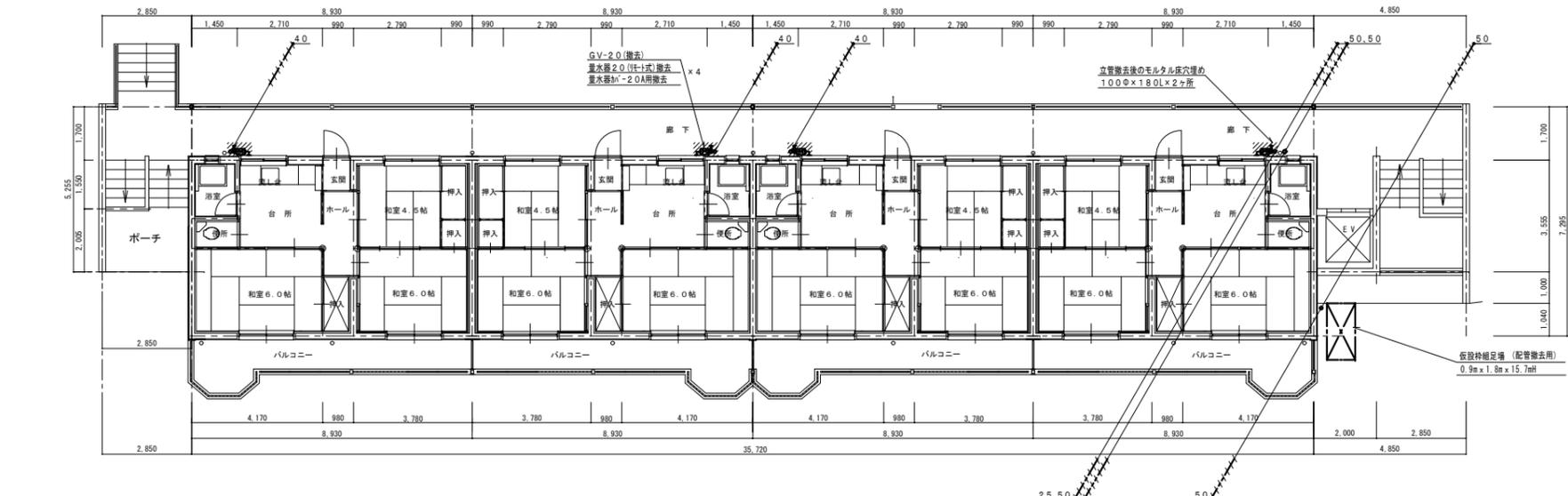
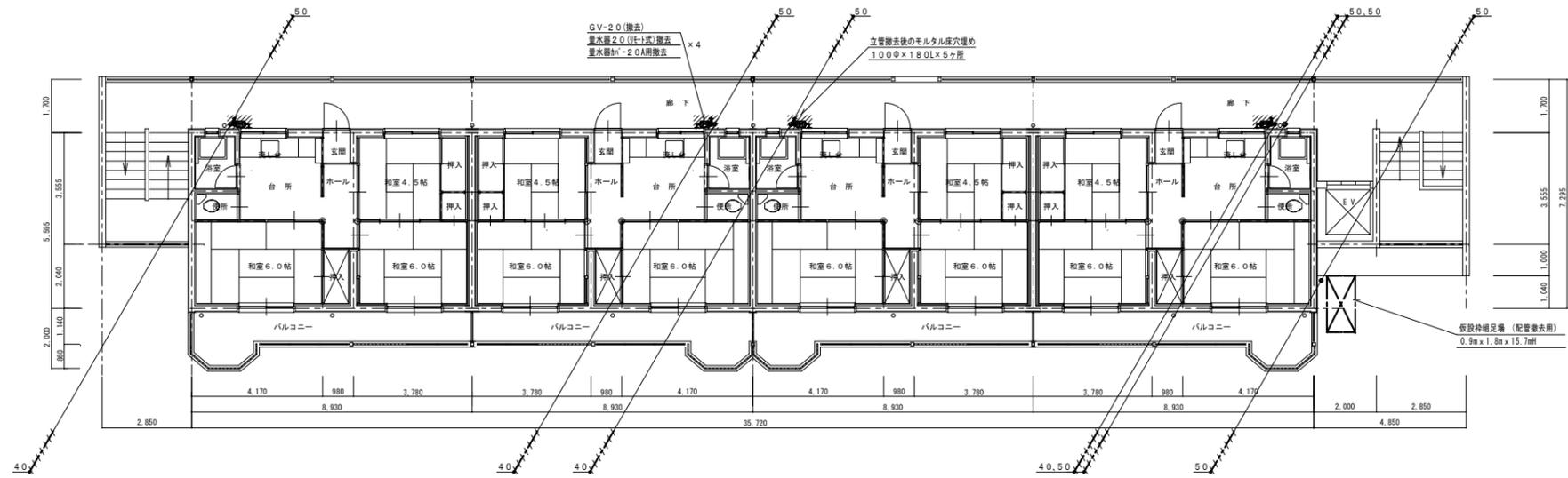
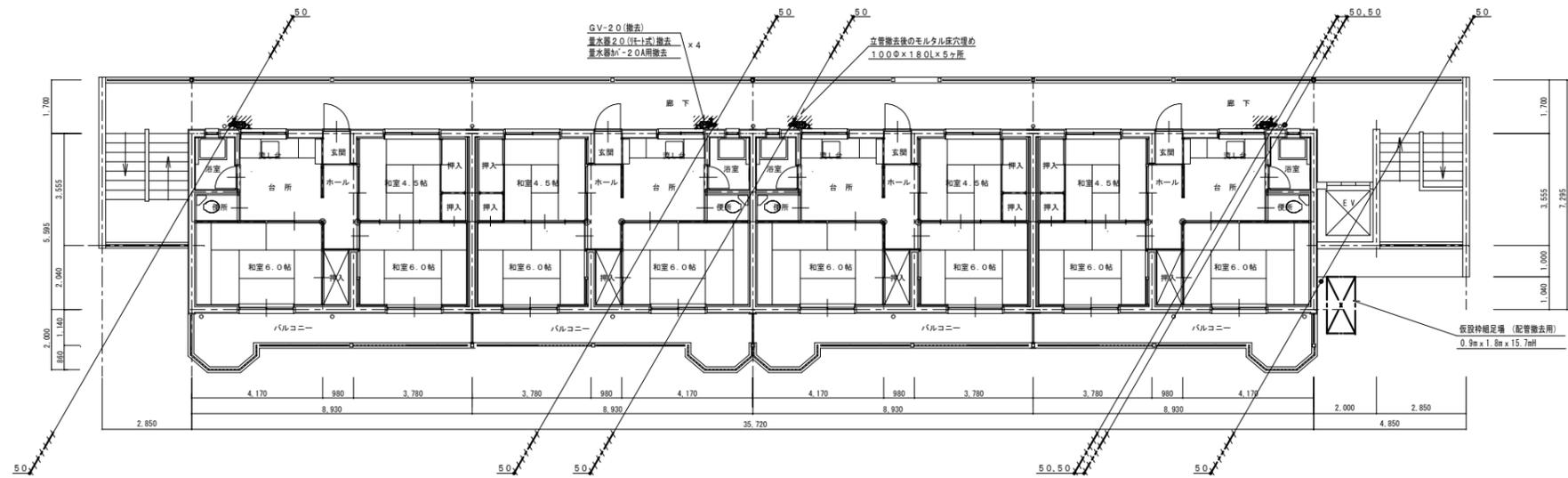
縮尺率	A-1: 100%
	A-2: 71%
	A-3: 50%

<p>工事名称 三吉町改良住宅1・2号棟給水設備改修工事</p>		<p>日付 2025年 3月</p>		<p>I. 設備企画</p>		<p>福山市建設局建築部設備課</p>													
<p>図面名称 2号棟 北立面図(改修後)</p>		<p>縮尺 1:100</p>		<p>〒721-0952 広島県福山市環町五丁目22番41号 TEL (084) 981-4877</p>		<table border="1"> <tr> <th>主務</th> <th>係員</th> <th>第1担当次長</th> <th>課長補佐</th> <th>設備課長</th> <th>建築部長</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		主務	係員	第1担当次長	課長補佐	設備課長	建築部長						
主務	係員	第1担当次長	課長補佐	設備課長	建築部長														
<p>図面NO.</p>							<p>W 11</p>												



縮尺率	A-1: 100%
	A-2: 71%
	A-3: 50%

福山市建設局 建築部 設備課 主務 係員 第1担当次長 課長補佐 設備課長 建築部長		図面NO. W 12
工事名称 三吉町改良住宅1・2号棟給水設備改修工事	日付 2025年 3月	I. 設備企画
図面名称 2号棟 給水管アイソメ図 (改修後)	縮尺 N.S	〒721-0952 広島県福山市環町五丁目22番41号 TEL (084) 981-4877



縮尺率
A-1: 100%
A-2: 71%
A-3: 50%

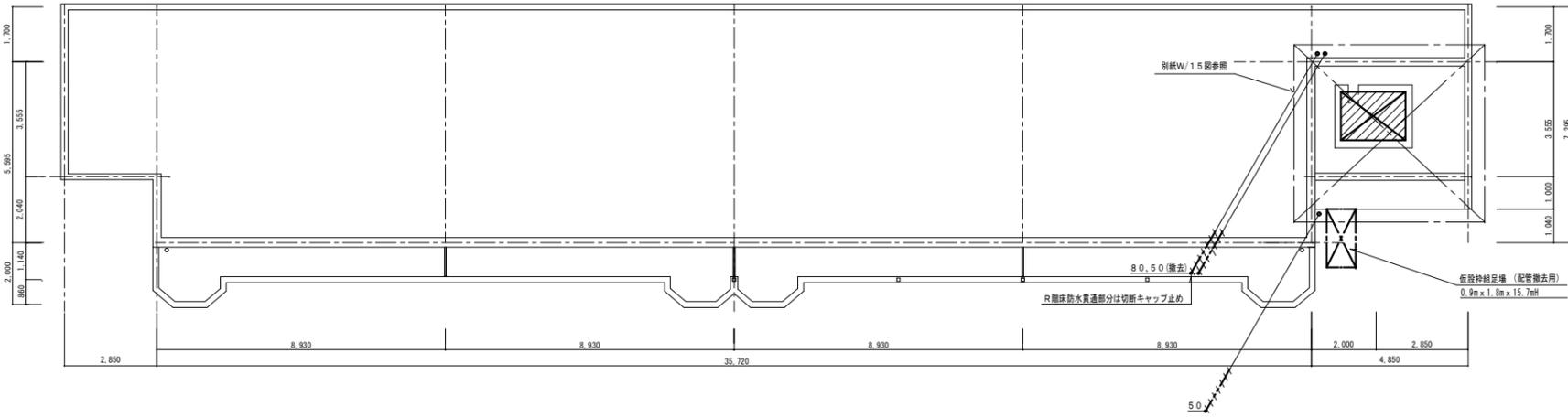
福山市建設局 建築部 設備課					
主務	係員	第1担当次長	課長補佐	設備課長	建築部長
I. 設備企画					
〒721-0952 広島県福山市環町五丁目2番41号 TEL (084) 981-4877					
図面NO.					W
					13

工事名称
三吉町改良住宅1・2号棟給水設備改修工事

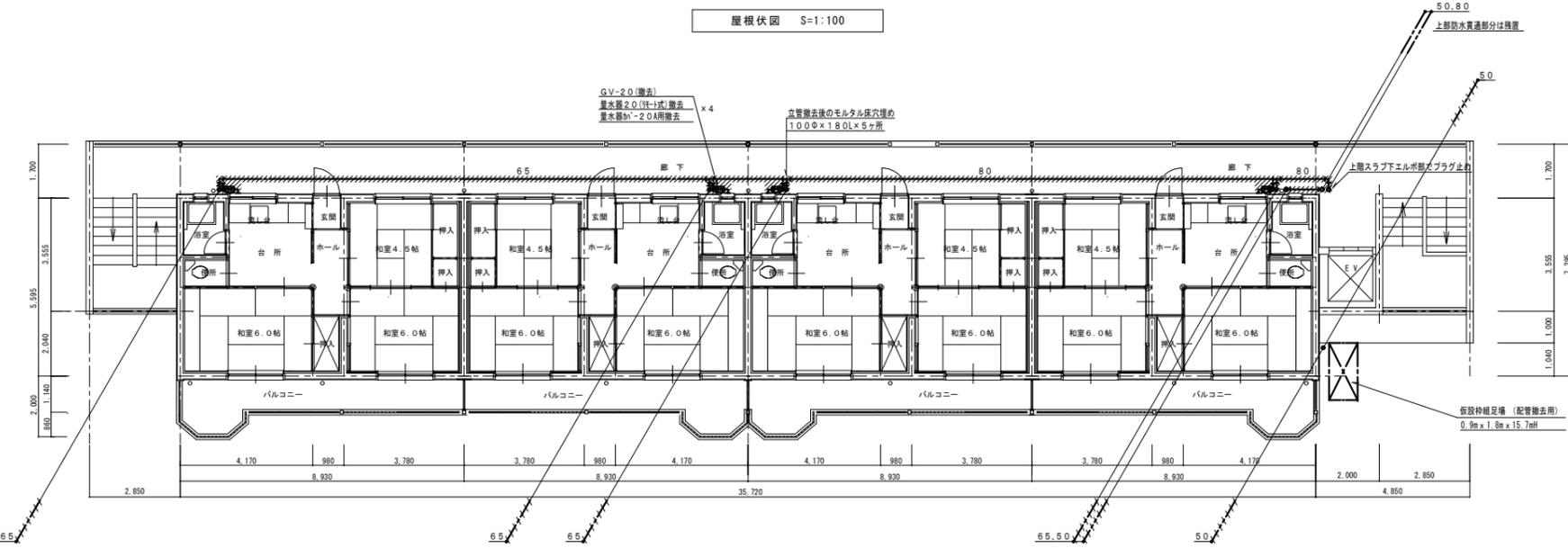
日付
2025年 3月

縮尺
1:100

図面名称
2号棟 1~3階平面図 (撤去)

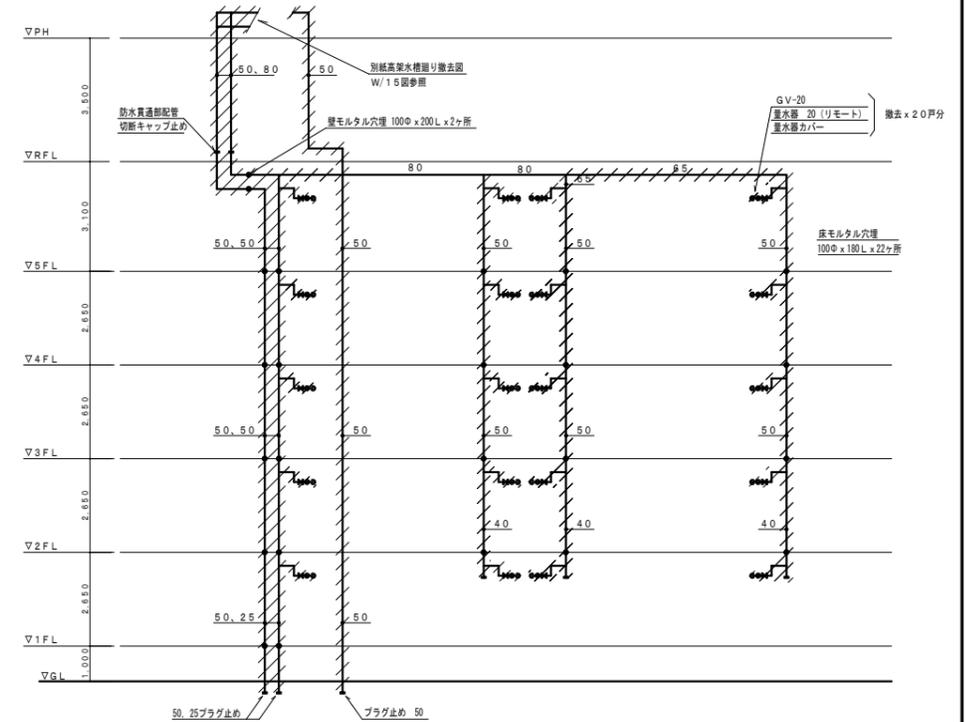
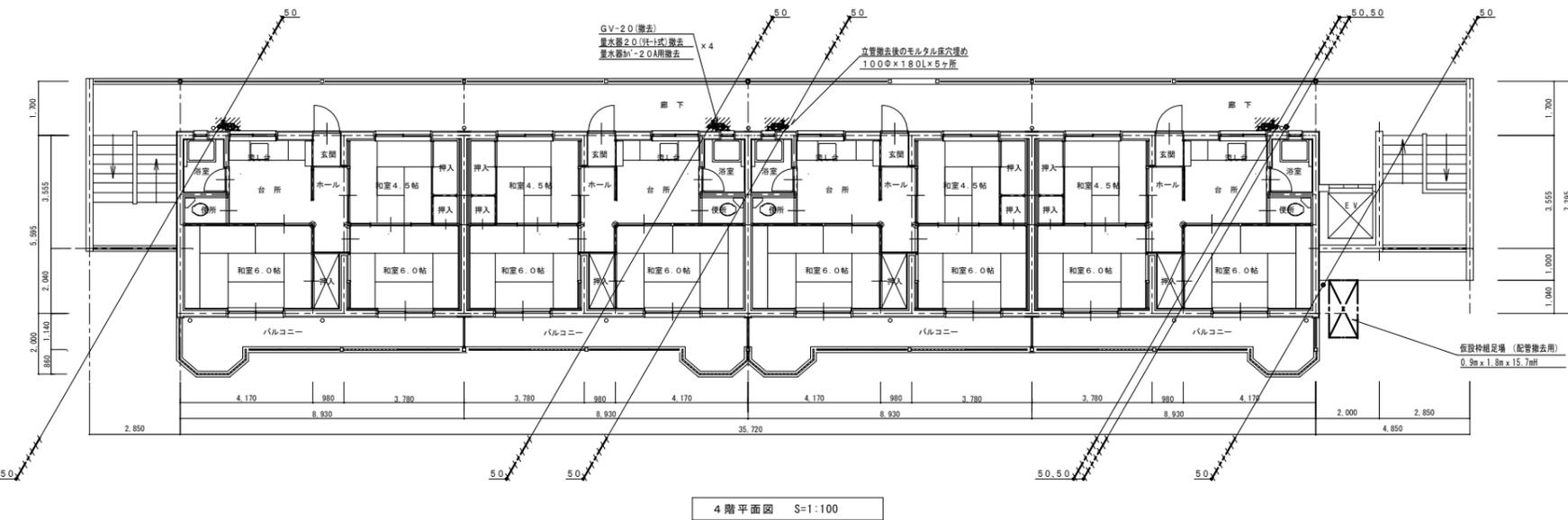


撤去配管材	硬質塩化ビニルライニング鋼管
保温材	GW+垂鉛鉄板巻
	撤去配管、器具



撤去器具リスト		
ゲート弁	2.0A	2.0
排水器	2.0A (リモート式)	2.0
排水器保温カバー	2.0A用	2.0

*排水器は、撤去後返却とする。



撤去配管系統図 N.S

縮尺率	A-1: 100%
	A-2: 71%
	A-3: 50%

撤去機器リスト (PH階)

品名	仕様	数量
高架水槽	FRP製角型一体形 4.5m ³	1
	2.0m×1.5m×1.5mH	
	コンクリート基礎は、残置とする。	

※ 電極保持器、電極棒、電気配線配管撤去は、別途工事とする。

凡例 (PH)高架水槽廻り



配管材はすべて、ライニング鋼管、保温仕様 (GW+鉄板巻)

2号棟ポンプ室撤去機器

品名	仕様	数量
揚水ポンプ	渦巻ポンプ (モートル形)	2
	4.0φ×150L/分×2.6M×1.5KW	
	製品重量・36kg	

ポンプ室、受水槽、撤去管材
給水管-ビニルライニング鋼管 保温-GW+アルミガラスクロス 屋外-SUS鋼板巻
オーバードレン管-ポリ硬質塩化ビニル管 (VP)

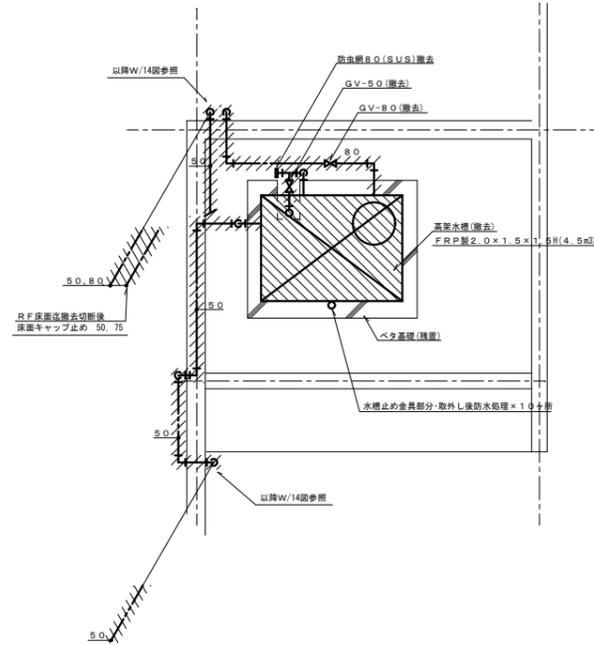
ポンプ室保温材アスベスト含有

ポンプ吸込管 4.0A-9.0' エルボ部分-4箇所
揚水配管 5.0A-9.0' エルボ部分-3箇所

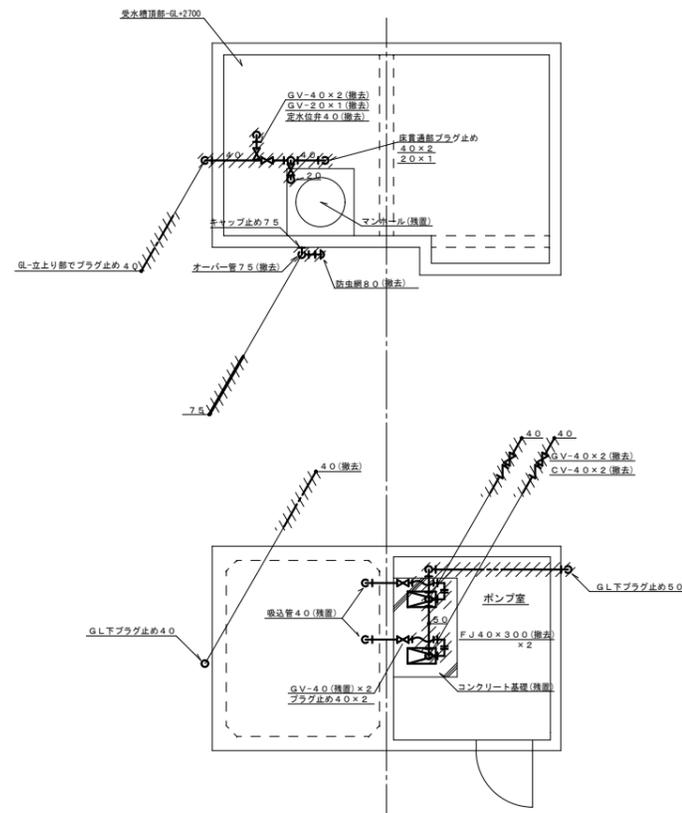
1号棟ポンプ室撤去機器

品名	仕様	数量
給水ポンプ	定圧給水ポンプユニット (交互運転)	1
	川本ポンプ-ポンパーKF	
	KF2・32AE0.75 (重量・107kg)	
	寸法・910W×535D×470H	

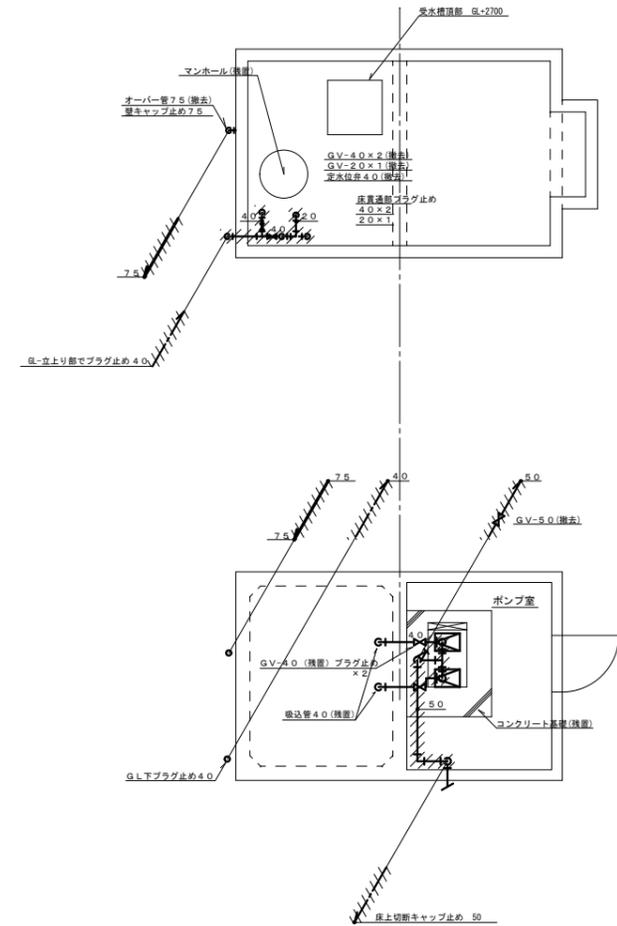
ポンプ室、受水槽、撤去管材
給水管-ビニルライニング鋼管 保温-GW+アルミガラスクロス 屋外-SUS鋼板巻
オーバードレン管-ポリ硬質塩化ビニル管 (VP)



2号棟高架水槽廻り撤去図 S=1:50



2号棟受水槽ポンプ室 S=1:50



1号棟受水槽ポンプ室 S=1:50

縮尺率	A-1: 100%
	A-2: 71%
	A-3: 50%

図面 No.

福山市建設局 建築部 設備課					
主務	係員	第1担当次長	課長補佐	設備課長	建築部長
W					
15					

工事名称	三吉町改良住宅1・2号棟給水設備改修工事	日付	2025年 3月
図面名称	1・2号棟ポンプ室、受水槽、高架水槽廻り撤去図	縮尺	1:50

I. 設備企画	
〒721-0952	広島県福山市環町五丁目22番41号
TEL (084) 981-4877	

参考数量書

§ 工事名称 三吉町改良住宅1・2号棟給水設備改修工事

§ 工事場所 福山市三吉町二丁目及び北吉津町四丁目地内

特記事項

- 1 この数量書は、福山市建設工事請負契約約款1条に定める「設計図書」ではなく参考数量です。従って、契約後の変更等を含意するものではありません。
- 2 数量の算出は次の基準によっています。

※ 「建築数量積算基準・同解説」 (建築工事積算研究会制定)

※ 「公共建築設備数量積算基準・同解説」 (国土交通省大臣官房官庁営繕部監修)

設 計 書

工事名称 三吉町改良住宅1・2号棟給水設備改修工事

工事場所 福山市三吉町二丁目及び北吉津町四丁目地内

【工事概要】
・給水設備工事 ～ 一式
・撤去工事 ～ 一式
・発生材処理 ～ 一式

【別途工事】
・電気設備工事

名 称	数 量	単 位	金 額	備 考
直接工事費				
直 接 工 事 費	1	式		
計				
共通費				
共通仮設費	1	式		
現場管理費	1	式		
一般管理費等	1	式		
計				
工事価格	1	式		
消費税等相当額	1	式		消費税率 10 %
工事費	1	式		

1号棟		屋外給水設備				
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
給水・耐衝撃性 ホリ塩ビ管(HIVP) 改修	地中配管 20A	22	m			
給水・耐衝撃性 ホリ塩ビ管(HIVP) 改修	地中配管 25A	15	m			
給水・耐衝撃性 ホリ塩ビ管(HIVP) 改修	地中配管 40A	23	m			
青銅仕切弁	10K(ねじ) 25A	1	個			
青銅仕切弁	10K(ねじ) 40A	2	個			
ホ-ル型伸縮止水栓 (逆止弁付)	20A	6	個			
ホ-ル型伸縮止水栓 (逆止弁付)	25A	3	個			
量水器BOX	樹脂製 20A～25A用	9	個			
給水装置工事手数料	口径25mm以下	9	件			
弁榘	機 械 VC-1(550H)	1	組			
弁榘	樹脂製	2	組			
地中埋設標	鉄製	3	個			
埋設標識テープ	150幅	60	m			
既設雨水榘接続	25A	1	か所			
雑工事		1	式			別紙 00-0003
土工事		1	式			別紙 00-0004
アスファルト舗装解体・ 復旧		1	式			別紙 00-0005
計						

1号棟 撤去工事						
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
給水ポンプ 撤去	給水ポンプ エット 交互運転 32φ×0.75kW	1	台			
給水・塩ビライニング鋼管 (SGP-VB) 撤去	ねじ接合 屋内一般 20A	11	m			
給水・塩ビライニング鋼管 (SGP-VB) 撤去	ねじ接合 屋内一般 40A	35	m			
給水・塩ビライニング鋼管 (SGP-VB) 撤去	ねじ接合 屋内一般 50A	26	m			
給水・塩ビライニング鋼管 (SGP-VB) 撤去	ねじ接合 機械室・便所 40A	2	m			
給水・塩ビライニング鋼管 (SGP-VB) 撤去	ねじ接合 機械室・便所 50A	7	m			
排水・硬質ポリ塩化ビニル管 (VP) 撤去	屋内一般 75A	2	m			
給水管 保温撤去	グラスウール 機械室, 書庫, 倉庫 アルミガラス化粧原紙 40A 再使用しない	2	m			
給水管 保温撤去	グラスウール 機械室, 書庫, 倉庫 アルミガラス化粧原紙 50A 再使用しない	7	m			
給水管 保温撤去	グラスウール 屋外露出, 浴室 ステンレス鋼板 20A 再使用しない	1	m			
給水管 保温撤去	グラスウール 屋外露出, 浴室 ステンレス鋼板 40A 再使用しない	6	m			
給水管 保温撤去	グラスウール 屋外露出, 浴室 カラー亜鉛鉄板 20A 再使用しない	10	m			
給水管 保温撤去	グラスウール 屋外露出, 浴室 カラー亜鉛鉄板 40A 再使用しない	29	m			
給水管 保温撤去	グラスウール 屋外露出, 浴室 カラー亜鉛鉄板 50A 再使用しない	26	m			
自動エア抜弁 撤去	15A	1	個			
定位水位弁 撤去	40A	1	個			
量水器 撤去	20A	9	個			
プラグ止め	SGP-VB 20A	1	か所			
プラグ止め	SGP-VB 40A	5	か所			
コンクリート穴埋め補修	100φ×180L	9	か所			

2号棟		屋外給水設備				
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
水道直結加圧式ポンプユニット	キャビネット型 ステンレス製 屋外設置 50A×180L/min×13m×1.1kW	1	台			
水道用直結加圧形ポンプユニット据付(衛生機器)	標準基礎 1.5 kW以下 ポンプ2台	1	基			
搬入費	単独搬入 250kg以下	0.1	t			
給水・耐衝撃性ポリ塩化ビニル管(HIVP)改修	地中配管 20A	189	m			
給水・耐衝撃性ポリ塩化ビニル管(HIVP)改修	地中配管 25A	40	m			
水道用ポリエチレン管改修	軟質管・金属製継手接合 地中配管 50A	64	m			
水道用ポリエチレン管改修	軟質管・金属製継手接合 屋内一般 50A	2	m			
排水・硬質ポリ塩化ビニル管(VP)改修	地中配管 40A	8	m			
青銅仕切弁	10K(ねじ) 50A	2	個			
水道用ソフトシル仕切弁	10K 50A	4	個			
量水器 取付	13A	2	個			
量水器 取付	20A	16	個			
量水器 取付	25A	4	個			
給水装置工事手数料	口径25mm以下	22	件			
ボール型伸縮止水栓(逆止弁付)	13A	2	個			
ボール型伸縮止水栓(逆止弁付)	20A	16	個			
ボール型伸縮止水栓(逆止弁付)	25A	4	個			
量水器BOX	樹脂製 15A用	2	個			
量水器BOX	樹脂製 20A～25A用	20	個			
弁柵	機 械 VC-3(700H)	4	組			

2号棟 撤去工事						
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
高架水槽 撤去	FRP製複合版一体形 容量4.5m ³ 2000×1500×1500H	1	基			
揚水ポンプ 撤去	渦巻ポンプ 40φ×150L/min×1.5kW	2	台			
搬出費 (揚重機除く)	複数搬出 100kg/m ³ 未満	0.4	t			
揚重機械	フッタークレーン 45t吊り	1	台			
給水・塩ビ ライニング鋼管 (SGP-VB) 撤去	ねじ接合 屋内一般 20A	24	m			
給水・塩ビ ライニング鋼管 (SGP-VB) 撤去	ねじ接合 屋内一般 25A	4	m			
給水・塩ビ ライニング鋼管 (SGP-VB) 撤去	ねじ接合 屋内一般 40A	17	m			
給水・塩ビ ライニング鋼管 (SGP-VB) 撤去	ねじ接合 屋内一般 50A	83	m			
給水・塩ビ ライニング鋼管 (SGP-VB) 撤去	ねじ接合 屋内一般 65A	18	m			
給水・塩ビ ライニング鋼管 (SGP-VB) 撤去	ねじ接合 屋内一般 80A	36	m			
給水・塩ビ ライニング鋼管 (SGP-VB) 撤去	ねじ接合 機械室・便所 40A	4	m			
給水・塩ビ ライニング鋼管 (SGP-VB) 撤去	ねじ接合 機械室・便所 50A	10	m			
排水・硬質ポリ 塩化ビニル管 (VP)撤去	屋内一般 75A	3	m			
給水管 保温撤去	グラスウール 機械室,書庫,倉庫 アルミガラス化粧原紙 40A 再使用しない	4	m			
給水管 保温撤去	グラスウール 機械室,書庫,倉庫 アルミガラス化粧原紙 50A 再使用しない	10	m			
給水管 保温撤去	グラスウール 屋外露出,浴室 ステンレス鋼板 20A 再使用しない	1	m			
給水管 保温撤去	グラスウール 屋外露出,浴室 ステンレス鋼板 40A 再使用しない	6	m			
給水管 保温撤去	グラスウール 屋外露出,浴室 カラー亜鉛鉄板 20A 再使用しない	24	m			
給水管 保温撤去	グラスウール 屋外露出,浴室 カラー亜鉛鉄板 25A 再使用しない	4	m			
給水管 保温撤去	グラスウール 屋外露出,浴室 カラー亜鉛鉄板 40A 再使用しない	11	m			

2号棟		撤去工事				
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
給水管 保温撤去	グラスウール 屋外露出,浴室 カラー亜鉛鉄板 50A 再使用しない	83	m			
給水管 保温撤去	グラスウール 屋外露出,浴室 カラー亜鉛鉄板 65A 再使用しない	18	m			
給水管 保温撤去	グラスウール 屋外露出,浴室 カラー亜鉛鉄板 80A 再使用しない	36	m			
給水用弁類 保温撤去	ポリエチレン 80A	1	個			
仕切弁 撤去	80A	1	個			
定位水位弁 撤去	40A	1	個			
FJ 撤去	40A	2	個			
量水器 撤去	20A	20	個			
管端防虫網 撤去	VP用 80A	2	個			
プラグ止め	SGP-VB 20A	1	か所			
プラグ止め	SGP-VB 25A	1	か所			
プラグ止め	SGP-VB 40A	5	か所			
プラグ止め	SGP-VB 50A	2	か所			
キャップ止め	50A	2	か所			
キャップ止め	75A	3	か所			
コンクリート穴埋め補修	100φ×180L	22	か所			
コンクリート穴埋め補修	100φ×200L	2	か所			
建設発生材運搬費	特定建設資材以外	1.2	t			
建設発生材運搬費	廃プラ	0.4	t			
アスベスト含有材撤去	鋼材40A	4	か所			

1号棟 屋外給水設備						
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
アスファルト舗装解体・復旧		1	式			別紙 00-0005
〈アスファルト仮舗装〉						
アスファルト仮舗装道	A-3-10 再生密粒 再生クワッチャレン 人 力	14.2	m ²			
(取り壊し) 仮舗装用						
カッター入れ		49.6	m			
アスファルト舗装取り壊し		0.7	m ³			
〈アスファルト本舗装〉						
アスファルト舗装	A-5-15 密粒 クワッチャレン 500m ² 未満	24.2	m ²			
(取り壊し) 本舗装用						
カッター入れ		50.8	m			
アスファルト舗装取り壊し		1.2	m ³			
舗装機械運搬 (アスファルトファイニッシャ)		1	往復			
建設発生材運搬費	アスファルト	1.9	m ³			
計						

2号棟 屋外給水設備						
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
保温		1	式			別紙 00-0011
給水管 保温	ポリスチレン 屋外露出, 浴室 ステンレス鋼板 50A	2	m			
計						
ポンプ 基礎		1	式			別紙 00-0012
コンクリート	生コン人力打設	0.2	m ³			
捨てコンクリート		0.1	m ³			
砂利地業	切込み砂利	0.1	m ³			
溶接金網敷	径5.0 150×150	0.7	m ²			
型枠	一般用	0.9	m ²			
面木		3.6	m			
根切り(機械)	バックホウ 0.13m ³ 排出ガス対策型 油圧式クローラ型	0.5	m ³			
埋戻し	機械 バックホウ 0.13m ³ 排出ガス対策型 油圧式クローラ型	0.4	m ³			
建設発生土処理	人力 構内敷ならし	0.2	m ³			
計						
雑工事		1	式			別紙 00-0013
量水器5個用補強		1	式			
量水器6個用補強		1	式			
計						

2号棟		屋外給水設備				
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土工事		1	式			別紙 00-0015
根切り(機械)	バックホウ 0.13m3 排出ガス対策型 油圧式クローラ型	53	m3			
埋戻し	機 械 バックホウ 0.13m3 排出ガス対策型 油圧式クローラ型	53	m3			
土工機械運搬	根切り、埋戻し(小規模土工) -	1	往復			
計						
コンクリート舗装解体・ 復旧		1	式			別紙 00-0014
(コンクリート舗装)						
コンクリート舗装	歩道C-10-10(溶接金網共) 特に狭い場所 人力 路盤材共 クラッシュラン	29.1	m ²			
(取り壊し)						
カッター入れ		97.8	m			
コンクリート舗装取り壊 し		4.4	m3			
建設発生材運搬費	コンクリート	4.4	m3			
計						

水道本管引込工事		水道本管引込工事				
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
I号棟引込工事		1	式			別紙 00-0019
【管材費】						
PEP	40φ	1	本			
不断水割丁字管V付F型(PE管)	50×40	1	組			
PEおねじ	40φ	2	個			
PEエルボ	40φ×90	4	個			
埋設スリース弁	40φ	1	個			
B止水栓ボックス	40φ	1	か所			
止水栓用レシコン上部	RB20 A150	1	個			
止水栓用レシコン中部	RB20 B100	1	個			
底板	RB20 P40SS	1	個			
ナイロンスリーブ、ワイヤー、シート	75φ以下	4	m			
消耗雑材		1	式			
【土工事】						
舗装切断工	AS 10cm以下×12m	1	式			
舗装版処分工(積込、運搬処分)		1	式			
掘削及び埋め戻し工 残土処分		3	m ³			
舗装仮復旧工	AS t=3cm	4	m ²			
舗装本復旧工	AS t=5cm	4	m ²			
【配管工事費】						

水道本管引込工事		水道本管引込工事				
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
2号棟引込工事		1	式			別紙 00-0020
【管材費】						
PEP	50φ	1	本			
不断水割丁字管V付F型 (PE管)	100×50	1	組			
EFソケット	50φ	2	個			
EFエルボ	50φ×90	4	個			
ソフトシル弁 (PE押し口付)	50φ	1	個			
仕切弁BOX	50φ	1	か所			
止水栓用レシコン上部	RB20 A150	1	個			
止水栓用レシコン中部	RB20 B100	1	個			
底板	RB20 P40SS	1	個			
ナイロンスリーブ、ワイヤー、シート	75φ以下	4	m			
消耗雑材		1	式			
【土工事】						
舗装切断工	AS 10cm以下×14m	1	式			
舗装版処分工 (積込、運搬処分)		1	式			
掘削及び埋め戻し工 残土処分		4	m ³			
舗装仮復旧工	AS t=3cm	5	m ²			
舗装本復旧工	AS t=5cm	5	m ²			
【配管工事費】						

水道本管引込工事		水道本管引込工事				
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
1号棟コマ下げ工事		1	式			別紙 00-0021
【管材費】						
砲金分水栓キャップ	40φ	1	個			
ホ ^レ リエレンチューブ		2	m			
消耗費、雑材		1	式			
【土工事】						
舗装切断工	AS 10cm以下×6m	1	式			
舗装版処分工（積込、運搬処分）		1	式			
掘削及び埋め戻し工 残土処分		3	m ³			
舗装仮復旧工	AS t=3cm	2	m ²			
舗装本復旧工	AS t=5cm	2	m ²			
【配管工事費】						
コマ下げ工	40φ	1	式			
ホ ^レ リエレンスリーブ	75φ以下	1	か所			
運搬、安全費		1	式			
計						

水道本管引込工事		水道本管引込工事				
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
2号棟コマ下げ工事		1	式			別紙 00-0022
【管材費】						
砲金分水栓キャップ	40φ	1	個			
ホ ^レ リエレンチューブ		2	m			
消耗費、雑材		1	式			
【土工事】						
舗装切断工	AS 10cm以下×6m	1	式			
舗装版処分工（積込、運搬処分）		1	式			
掘削及び埋め戻し工 残土処分		3	m ³			
舗装仮復旧工	AS t=3cm	2	m ²			
舗装本復旧工	AS t=5cm	2	m ²			
【配管工事費】						
コマ下げ工	40φ	1	式			
ホ ^レ リエレンスリーブ	75φ以下	1	か所			
運搬、安全費		1	式			
計						

